

612.8
Ta621n

005724-000-4

612.8-Ta621n

日本農界偉人名鑑

加藤 辰彌 / 編

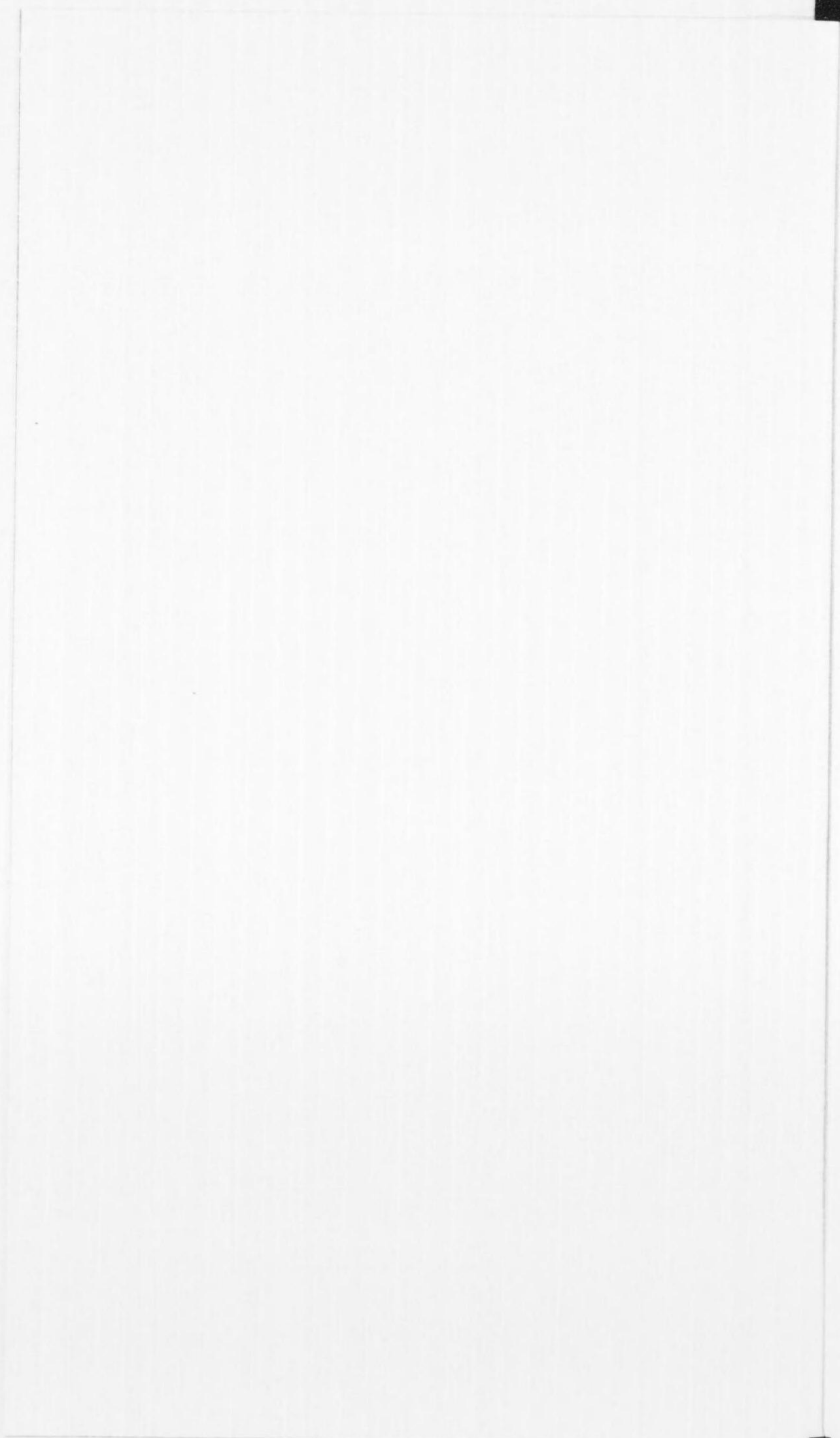
図版

M44

ACF-1223







エト2K-19

日本農界偉人名鑑

全

610.28 Tab 2/n
612.8

2221



一般





288282

日本農界偉人名鑑序

(1)

凡國家經世之事。或有爲之前。或有爲之後。以善濟百般功業。諺曰。人不英雄豪傑。安能得爲萬物靈乎。方今厚生之機。利用之道。皆既具備。此乃奎運駁駁之所致也。抑農者。國家生命。生靈以繫焉。財貨以殖焉。故斯業隆替。關於天下經濟。頗大矣。據明治廿八年所查。農產額。一年僅三億五千萬圓耳。今乃五倍之。至十五億圓。且定農業基礎。最爲鞏固。後益改良之。愈發達之。一以富國爲急策。昨閱農產全躰試驗成績表。額至三十億圓。蓋在於近也。效果績大。既如此。是則雖由學校銀行農界試驗場及新聞雜誌講話演說萬般法律政府保護得宜之所致。抑亦非有志老農。勸誘獎勵得宜。焉能得見此偉大效果哉。不肖不自揣。明治十八年三月。率先天下。創業者造肥料。當時封建爲制。鎖國爲風。餘弊未除。人智未開。農事未興。今而思之。殆如隔世。當創業廿五年

(2)

紀念會之時。深感勞瘁農事者德。欲傳其事績于天下後世。且使青年子弟。感化獎勵。乃懇請各府縣及朝鮮臺灣諸農會。拔選得名士十名。因製銀盃五百。各敬贈之。以祝其成功。併錄其名士事蹟。題曰農界偉人名鑑。自投資梓行之。以頌江湖諸彥。爲後進子弟參考。永永傳之。且以紙丁有限。行文不潤色。詞句不流暢。僅雖不過網羅名士事蹟。亦足以知其一斑矣。然而青年子弟。繼承我農事者。宜神妙勤勵。身心健全。常究學理。研智德。用之於實地。愈益精勵。以致一家一國之富。輕舉不走事。因循不怠業。唯一從事農耕。以爲聖代之民矣。蓋帝國版圖。現已曠大。臺灣朝鮮。樺太滿洲。皆可經營農事之地也。加之。北米南米。南洋諸邦。亦爲青年諸子活動農事之戰場。宜鑑先哲事蹟。隨時勢之所趨。勇邁奮鬪。活潑鼓舞。以不可負帝國農民之本分也。誠意警告之。幸諒焉。遂書以爲序。

明治四十三年十二月

多木製肥所主人識

本書の刊行に際し、本所よりは左の如き書面を全國各農會へ差出し、爾來一年餘の日子を費したる今日漸く其一部の目的を達して、本書を刊行し得るの機運に會したるは、本所の光榮とする處なり、且つ全國各農會より與へられたる甚大なる便宜と斡旋の勞に對しては深く感謝に堪へざるなり。

謹啓貴會益々御隆盛に被爲赴候は是れ全く御在勤各位農界に御貢獻の效果にして御美徳欽慕に不堪恭しく爲國家奉祝候弊所多年各位が間接直接の御恩愛に依り今日の旺盛を致し候もの御同情の賜と滿腔の熱誠を以て感謝に不堪候。扱て弊所自ら揣はず天下に卒先して、化學肥料の業を興し、苦心慘憺茲に貳拾有五年幸に今日あるを致し、無代價にても使用せられざりし肥料も、既に年額數百萬圓の多きに達し、是か爲めに同業者の競起と奮興とを喚起し、全國の産額五千餘萬圓に達し尙益々増加せんとするの勢に候此の如きは時運の然らしむる處なりと雖も、要するに農界英雄豪傑の勸誘獎勵の反響にして又以て進歩の標徴たり。

回顧せば創業當時にありては社會未だ開けず、人智未だ進まず、人造肥料の何物たるを辨知せらるゝ人曉星も管ならず、然るに今や天下の農家舉つて之を用ひ相争ふて使用せらるゝの盛況を見るに至れり、唯に内國に於て愈々益々普及の旺盛を増すのみならず、海外輸出の重要物産たらんとするに至れり、豈急速の進歩ならずや、惟ふに如此は維新匆匆の際に於て鎖港攘夷の主張者も唯に内地を開放して雜居を許すのみならず列強と握手して世界的に活動を爲すに至れり、穢多の外、食し能はざりし牛肉も今や神官僧侶の常食となすに至りたる如き、此の樂もしき急劇なる時勢の變遷は、我人造肥料も亦其軌を一にす豈樂しからずや。

而して方今農事改良の事や舉國一致の大事業として、系統的農會の設立、學校に試験場に種々の銀行に其他各般の法律を以てし、或は行政の事務とし、或は有志公共の榮職として或は新聞に雜誌に講話に或は組合を設け團體を作り、天下滔々として到る處、美名の下に人心を風靡せざるなし豈盛んならずや。

而して其進歩の尺度は人造肥料使用量の多少を以て其程度をトせらるゝに至れり、之を統計に徴するに明治廿年前後に於ては米收僅かに三千數萬石なりしも今や五千數百萬石の多きに至り、麥收壹千五百萬石に足らざりしもの今や二千數百萬石に達し、繭の收穫百廿萬石に過ぎざりしもの今や三百餘萬石の多きに達したり、豈偉大なる進歩ならずや。

之を要するに、豪傑偉人の熱誠なる奮勵の恩惠たる論を俟たずと雖も、抑も人造肥料の効果興りて最大の力あることは賢明なる各位の熟知せらるゝ處ならん、是れ實に化學肥料製造者の光榮にして、其責務も亦重大なるを覺悟せざるを得ん。

而して今や國家の發展は富力に俟たざるべからざるの時に當り、我農界偉人の功業を發揚するは又以て急務ならずとせんや、弊所は常に農界の豪傑偉人に向つて其濟美大徳を欽慕すると共に、又大に敬意を表し更に進んで前途の奮勵を囑望しつゝあり。

今や文明の肥料界は各位の熟知せらるゝ如く愉快なる名譽の競争を爲しつゝあり、是れ農界の爲めに祝すべき現象にして、如此の形勢の持續せんことを祈らざるを得ず、弊所は微力と雖も農事の忠僕を以て任せり、農事の隆盛は弊所の發達にして、農家と利害盛衰を共にし、水魚緊密の關係を永遠無窮に維持せんことを切望せり、弊所が今日あるは農界の元勳たる英雄の賜なり、豈感荷に耐ゆべけんや。

恰も本年は創業廿五年に遭遇し尙且つ畏れ多くも、陛下特別の御思召を以て、特に侍從御差遣の榮を得たる七週年に際會せるを以て、此機會を利用し、銀盃五百個を調製し、全國及び臺灣朝鮮に至る迄、農界の人傑に向つて紀念の爲め銀盃を贈呈して、聊か誠意を表し併せて農事獎勵の一助たらんことを欲す、希くば弊所の赤心御憐察を以て御贊同の榮を賜り、貴會に於て農界功勞の人傑十名を撰拔せられんことを切に奉願候、而して其偉人豪傑の偉烈勳功は天下後進の模範として大に感化の功あるを確信せるを以て編輯して、一冊子となし天下に分布せんことを期す、幸に御協贊の榮を賜らば幸甚之に過ぎず、右得貴意度恐々頓首。

追て其銀盃の授與は貴會に一任可仕候へば然るべく貴會にて御執成し被下度併せて奉願候。

て御美德欽慕に不堪恭しく爲國家奉祝候弊所多年各位が間接直接の御恩愛に依り今日の旺盛を致し候もの御同情の賜と滿腔の熱誠を以て感謝に不堪候
扱て弊所自ら揣はず天下に卒先して、化學肥料の業を興し、苦心慘憺に貳拾有五年幸に今日あるを致し、無代價にても使用せられざりし肥料も、既に年額數百萬圓の多きに達し、是か爲めに同業者の競起と奮興とを喚起し、全國の産額五千餘萬圓に達し尙益々増加せんとするの勢に候此の如きは時運の然らしむる處なりと雖も、要するに農界英雄豪傑の勸誘獎勵の反響にして又以て進歩の標徴たり。
回顧せば創業當時にありては社會未だ開けず、人智未だ進まず、人造肥料の何物たるを辨知せらるゝ人曉星も管ならず、然るに今や天下の農家舉つて之を用ひ相争ふて使用せらるゝの盛況を見るに至れり、唯に内國に於て愈々益々普及の旺盛を増すのみならず、海外輸出の重要物産たらんとするに至れり、豈急速の進歩ならずや、惟ふに如此は維新勿々の際に於て鎖港攘夷の主張者も唯に内地を開放して難居を許すのみならず、列強と握手して世界的に活動を爲すに至れり、穢多の外、食し能はざりし牛肉も今や神官僧侶の常食となすに至りたる如き、此の樂もしき急劇なる時勢の變遷は、我人造肥料も亦其軌を一にす豈樂しからずや。

而して方今農事改良の事や舉國一致の大事業として、系統的農會の設立、學校に試験場に種々の銀行に其他各般の法律を以てし、或は行政の事務とし、或は有志公共の榮職として、或は新聞に雜誌に講話に或は組合を設け團體を作り、天下滔々として到る處、美名の下に人心を風靡せざるなし豈盛んならずや。

而して其進歩の尺度は人造肥料使用量の多少を以て其程度をトせらるゝに至れり、之を統計に徴するに明治廿年前後に於ては米收僅かに三千數萬石なりしも、今や五千數百萬石の多きに至り、麥收壹千五百萬石に足らざりしもの今や二千數百萬石に達し、繭の收穫百廿萬石に過ぎざりしもの今や三百餘萬石の多きに達したり、豈偉大なる進歩ならずや。

之を要するに、豪傑偉人の熱誠なる奮勵の恩惠たる論を俟たずと雖も、抑も人造肥料の効果興りて最大の力あることは賢明なる各位の熟知せらるゝ處ならん、是れ實に化學肥料製造者の光榮にして、其責務も亦重大なるを覺悟せざるを得ん。
而して今や國家の發展は富力に俟たざるべからざるの時に當り、我農界偉人の功業を發揚するは又以て急務ならずとせんや、弊所は常に農界の豪傑偉人に向つて其濟美大徳を欽慕すると共に、又大に敬意を表し更に進んで前途の奮勵を囑望しつゝあり。

今や文明の肥料界は各位の熟知せらるゝ如く愉快なる名譽の競争を爲しつゝあり、是れ農界の爲めに祝すべき現象にして、如此の形勢の持續せんことを祈らざるを得ず、弊所は微力と雖も農事の忠僕を以て任せり、農事の隆盛は弊所の發達にして、農家と利害盛衰を共にし、水魚緊密の關係を永遠無窮に維持せんことを切望せり、弊所が今日あるは農界の元勳たる英雄の賜なり、豈感荷に耐ゆべけんや。

恰も本年は創業廿五年に遭遇し尙且つ畏れ多くも、陛下特別の御思召を以て、特に侍從御差遣の榮を得たる七週年に際會せるを以て、此機會を利用し、銀盃五百個を調製し、全國及び臺灣朝鮮に至る迄、農界の人傑に向つて紀念の爲め銀盃を贈呈して、聊か誠意を表し併せて農事獎勵の一助たらんことを欲す、希くば弊所の赤心御憐察を以て御賛同の榮を賜り、貴會に於て農界功勞の人傑十名を撰拔せられんことを切に奉願候、而して其偉人豪傑の偉烈勳功は天下後進の模範として大に感化の功あるを確信せるを以て編輯して、一冊子となし天下に分布せんことを期す、幸に御協賛の榮を賜らば幸甚之に過ぎず、右得貴意度恐々頓首

追て其銀盃の授與は貴會に一任可仕候へば然るべく貴會にて御執成し被下度併せて奉願候

明治四十二年 月 日

多木製肥所長

多木久米次郎敬白

農商務大臣 男爵大浦兼武閣下題字

豊商蕨大豆 畏魯大節兼瓦閣才殿字

利来
子
集

貴族院議員 田中芳男閣下題字

貴州勸業員 田中芳男閣下題字

豐稔之源在施肥
富國之本在老農

明治卅三年十二月田中芳男題

日本農界偉人名鑑目次

東京府

(一)……………(一〇)

(1) 次 目

京都府

(一一)……………(一八)

篠川五郎作君
石川國太郎君
谷岡慶治君
萩原角左衛門君
生沼金太郎君
關根保太郎君
下田伊左衛門君
牛込金三君
井田忠信君
秋本喜七君
木村良君
波多野鶴吉君
田中逸平君
石原磯次郎君

大阪府

(一九)……………(二四)

田中庄太郎君
松本修三君
足立鉢太郎君
榎原重左衛門君
居相彌吉君
梅田重助君
末廣周藏君
三杉長兵衛君
木下直三郎君
巽善太郎君
梅川豐吉郎君
富岡治郎君
今井伊太郎君
喜田龜太郎君

兵庫縣

西村宗逸君
家村寛太郎君

(三五……三四)

平塚嘉右衛門君
大西善太郎君

長谷川兵次郎君
三木抽二君

橋本新一郎君
吉田清治君

岩破春平君
北村元吉君

波部本次郎君
廣田貫一郎君

長崎縣

(三五……四〇)

一瀬久太郎君
山口福次郎君

山下敬太郎君
深江東三郎君

新潟縣

(四一……四六)

中岡幾一郎君
力竹寅之助君
日高主計君
藤原元之助君
松坂嘉十郎君
長坂信夫君

渡邊三左衛門君
川上善兵衛君
眞島桂次郎君
高橋九郎君
富永孝太郎君
三輪振次郎君
山賀五平君
片桐竹之丈君
茅原鐵藏君
金子紋平君

群馬縣

(四七……五二)

奈良縣

(六三……六八)

柳京松君
米田政吉君
中村伊太郎君
片岡彦一郎君
加藤喜市君
吉村信一君
牧浦小重郎君
島田辨之吉君
戶尼善右衛門君

千葉縣

(五三……六二)

角田嘉右作君
長谷川權之丞君

毛呂佳太郎君
小野善兵衛君

神戶禎三郎君
中山重兵衛君

武藤幸逸君
狩野金次郎君

松本惣藏君
鶴山喜一郎君

湯淺常徳君
平野仙太郎君

牧野經太郎君
谷中門治郎君

松丸直吉君
石毛丑太郎君

齋藤清平君
村越善左衛門君

三重縣

(六九……七六)

宇佐美祐次君
辻喜代藏君
大橋誠一君
黒瀬修二君
結城十助君
龜井宗十郎君
木津慶次郎君

宇佐美祐次君
辻喜代藏君
大橋誠一君
黒瀬修二君
結城十助君
龜井宗十郎君
木津慶次郎君

愛知縣

榎本南夫君
岡田松之助君
大井御之丞君
(七七……八二)

靜岡縣

中村義上君
安井甚右衛門君
古橋源六郎君
青樹英二君
野村榮喜知君
齋藤久之丞君
渡邊平内治君
鶴田勝藏君
鵜部與三郎君
金山指喜作君
山崎源吉君
會根茂作君
伊藤甚三郎君
(八三……九二)

山梨縣

平井喜十郎君
增田芳藏君
大塚末廣君
高部之助君
土屋梅平君
田邊三郎君
鈴木恒太郎君
(九三……一〇〇)

生原龜太郎君
鷹野甚兵衛君
鈴木勢次郎君
渡邊堅吉君
依田常吉君
鹽澤元太郎君
栗原信近君
武井又五郎君
小侯高次郎君
若尾民藏君

滋賀縣

藤田清兵衛君
井口吉宗君
貓飼治三郎君
中井清吉君
西村市良右衛門君
本多嘉兵衛君
藤野喜平君
北川嘉藏君
久保彌重郎君
中村半治郎君
松井常太郎君
赤崎太四郎君
淺野伊三郎君
(一一七……一二四)

岐阜縣

鈴木三藏君
直井信平君
中川源治郎君

長野縣

大畑市太郎君
正田太郎右衛門君
岡田只治君
坪井伊助君
田中榮助君
山田與十郎君
龜谷嘉兵衛君
(一二五……一三二)

福澤泰江君
瀧井壽賀君
白井民左衛門君
小泉千藏君
堀内萬藏君
片倉兼太郎君
土屋清省三君
林屋清作君
樋田正助君
北原阿智之助君

宮城縣

(一三三...五三八)

佐藤源三郎君
 錦戶景訓君
 高橋仲之助君
 菅原與治右衛門君
 氏家作右衛門君
 岩住玄作君
 熱海孫十郎君
 岩淵良太夫君
 矢本平之助君
 佐藤丈輔君
 渡邊森次郎君
 立子山村農會
 遠藤德彌君
 和田與作君
 和田甚内君
 宗像利吉君

福島縣

(一三九...一四六)

外崎嘉七君
 相馬貞一君
 田澤周助君
 佐々木弘造君
 工藤轍郎君
 盛田嘉兵衛治君
 三浦重吉君
 菊地楯衛君

岩手縣

(一四七...一五六)

齋藤源藏君
 池田長八君
 山田信義君
 佐々木和一郎君
 松岡機藏君
 栗野善知君
 長尾右平君
 千葉太門君
 國分謙吉君
 小山幸右衛門君
 江刺家德太郎君
 菊地直三郎君
 小田島五郎君
 齋藤重弘君
 楠美冬次郎君

青森縣

(一五七...一六六)

金七助君
 石川理紀之助君
 二田是儀君
 立山弟四郎君
 伊藤半治君
 齋藤宇一郎君
 池田文太郎君
 坂本理一郎君
 土田萬助君

山形縣

(一六七...一七二)

五十嵐彌次郎君
 小川又次郎君
 小松久吉君
 堀熊太郎君
 佐藤吉次君
 佐藤清三郎君
 紺野久五右衛門君

福井縣

(一八三...一九〇)

藤堂雅亮君
 齋藤勘右衛門君
 青山莊君
 多田金三郎君
 澤本常治郎君
 山田常治郎君
 田保仁吉君
 井上六兵衛君

秋田縣

(一七三...一八二)

高橋七之助君

石川縣

(一九一...一九六)

富山縣

(一九七...二〇四)

山岸一郎 郎君
 吉田 奧四兵衛君
 大本 九十郎君
 本岡 三千治君
 松井 八三郎君
 長濱 佐吉郎君
 坂東 八郎君
 泉清 助君

高見 秀之君
 上坂 傳治君
 稻垣 豐次郎君
 村杉 義信君
 宮野 宗八君
 義浦 喜三郎君
 中田 藤一郎君
 野上 作君

鳥取縣

(二〇五...二二二)

鳥根縣

(二二三...二四〇)

坂井 敬義君
 池田 六右衛門君

上山 吉次君
 岩本 廉藏君
 渡邊 信平君
 中井 太郎君
 正井 種太郎君
 山崎 專藏君
 緒形 弘義君
 村田 吉重君
 原田 弘業君
 西尾 爲治君

若槻 佐一郎君
 引野 彌太郎君
 增田 龜造君
 堀江 國藏君

岡山縣

(二二一...二二八)

廣島縣

(二二九...二三六)

松尾 龜太郎君
 青戸 長之助君
 曾田 市三郎君
 真先 啓太郎君

岡崎 根次郎君
 小原 益太郎君
 藤原 元太郎君
 櫻井 彌壽二君
 柳井 三重宣君
 東田 三省君
 相田 嘉三郎君
 畑田 信三郎君
 大岡 熊次郎君
 佐野 篤太郎君

佐藤 山詮助君
 佐藤 壽一君

和歌山縣

(二二七...二四四)

加納 利源太君
 木村 關次君
 井關 保次郎君
 早川 千郎君
 野澤 富三郎君
 平西 喜代平君
 熊野 周右衛門君
 坂井 完一君

桑原 林之助君
 木本 主一郎君
 名出 平四郎君
 寺田 鬼子右衛門君
 梅田 仲之助君
 恩地 文質君
 御前 七郎右衛門君
 山下 太左衛門君
 脇田 富之助君
 沼野 英助君

德島縣

澁谷幸太郎君
宇井茂一郎君
大野辰平君
阪田源作君
林寅藏君
大平佐次郎君
岡部虎吉君
西田定一君
佐野勇次郎君
森苞樹君
藤井儀平君
川真田萬太郎君
大久保龜吉君
内田道太郎君
井上伊三太郎君
和田鹿太郎君
(二四五...二五二)

高知縣

松本紋次君
佐々木秀治郎君
渡邊巍君
野口伊右衛門君
星川盛一郎君
加藤徹太郎君
小倉通勝君
赤松勝馬君
岡本莊司君
和田柳太郎君
和川銀馬太郎君
吉川昌貴君
濱田鹿太郎君
和田兼吾君
濱田昌勝君
岡村覺太郎君
高野清幸君
坂本巖君
(二六三...二六八)

福岡縣

立花寛治君
安部熊之輔君
武藤德藏君
川邊精五郎君
平新太郎君
大森武雄君
大石琢磨君
高瀬彌十郎君
森部隆造君
小關忠平君
阿部常一君
黒川關平君
中島竹藏君
梅木芳太郎君
古椎楫夫君
佐藤孫三郎君
(二六九...二七四)

佐賀縣

山本泰雄君
佐藤直造君
八坂甚八君
坂井慶吉郎君
今泉良子君
森太良一君
大坪鐵五郎君
小野原虎吉君
川崎伊吉君
山邊濱雄君
藤田嘉一君
高木繁君
佐藤大平君
下城才吉君
内田真昭君
鹿子木泰藏君
(二八三...二九〇)

大分縣

阿部常一君
黒川關平君
中島竹藏君
梅木芳太郎君
古椎楫夫君
佐藤孫三郎君
(二七五...二八二)

熊本縣

高木繁君
佐藤大平君
下城才吉君
内田真昭君
鹿子木泰藏君
(二九一...三〇〇)

宮崎縣

平野勝衛君
幸島直言君
三津家傳之君
渡邊敬昌君
內柴敬持君

(三〇一...三〇八)

鹿兒島縣

黒木重家君
深水嘉平君
南崎常右衛門君
後藤伊左衛門君
瀬戸長通君
田中友連君
豊永秀聖君
黒木重藏君
芳賀瀧次郎君
矢津田鷹太郎君

(三〇九...三一六)

町田實一君

神奈川縣

場地市之丞君
平山隼雄君
每田敬藏君
濱田時中君
溝崎口潔君
松崎正雄君
赤塚源五郎君
瀬戸山良敏君
大津大助君
鎌田榮介君

(三一七...三二八)

森兵十郎君
金指八郎右衛門君
白井周祐君
小林章司君
梅澤松太郎君
峰尾景治君
芦川萬太郎君
和田庄之助君

栃木縣

木村徳太郎君
中村得治君

(三一九...三二〇)

香川縣

田村律之助君
梅村寛逸君
長井諫三君
吉屋雄一君
青木浦次郎君
田上廉次郎君
澁川未明君
大塚順吉君
中森茂八君
本多鏝吉君

(三二一...三二八)

福島治太郎君
森田長太郎君
山田熊吉君
尾形多五郎君

島根縣

香川濯櫻君
田中陸次郎君
齋藤善八君

(三二九...三三〇)

牛尾軍太郎君
加池浩一郎君

東京府



石川國太郎君



菅五郎君



谷國治君



生沼金太郎君



萩原角左衛門君

錄

附

(14)

附錄

多木製肥所長 多木彙次郎

多木製肥所工場全景

神代鍬商標之記

多木肥料之葉

(1)

東 京 府

日本農界偉人名鑑

東 京 府

篠 五郎 作 君

北豊島郡中新井村大字中新井

君は明治十三年村會議員に當選して就職せるを始めとし、村農會長、郡農會代表者、耕地整理委員、郡農會幹事、郡會議員、郡會議長、衆議院議員、各種農産物品評會審査委員、幹事等、其他種々の公事公職に關係し、農事に盡くせる功績甚だ偉大なるものあり。又公共事業に金圓を寄附せる事頗る多く、明治四十一年には農事視察の目的を以て東京府より長野縣に出張を命ぜられ、農事改良の奨励及び其實行に關し、貢獻せるところ實に尠しとせず、故に大日本農會總裁宮殿下より名譽ある表彰を受るに至れり。

東 京 府



下田伊左衛門君



關根保太郎君



井田忠信君



牛込金三君

二

石川國太郎君

北多摩郡大神村

夙に農事に盡瘁するところ深く、蠶業に貢献せる功績甚だ大なり。即ち明治十年蠶糸業郡部取締所検査役を囑託せられ、後大日本蠶糸會地方委員、各種繭品評會審査委員、大日本蠶糸會東京支會商議員に推薦せられし等、斯界に盡くせるの功績顯著なり。其他明治卅八年には中神村外七ヶ村農會代表者に推薦せられ、同年又北多摩郡農會評議員に推舉せられて、引續き今日に至るまで就任、農事の改良進歩に専ら盡力さる。明治四十年大日本農會總裁宮殿下より名譽賞状を賜はり、同四十二年東京府農會より銀盃及び賞状を授與され、其功を表彰せられたり。

谷岡慶治君

荏原郡駒澤村大字深澤

資性篤篤、實溫厚、夙に一郷の囑望するところとなり、初め名主役を勤め、尋て副戸長、戸長の職を奉じ、町村制實施の際には駒澤村々長に擧げられ、能く地方制度の主旨を體認し、専ら自治の發達を圖り、教育を奨勵し、橋梁を修繕し、村税の減省を圖る等

勳七等 萩原 角左衛門君

西多摩郡戸倉村

多年公共事業に勉勵し、東京府會議員、東京府農會代表者、東京府地方森林會議員、東京府農會評議員等の名譽職に就きては、一意専心事に當り、公共事業に金圓を寄附したる事頗る多く、農事の改良進歩に見るべきの效果甚だ尠ならず、其功績顯著なるの故を以て、明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より賞状を賜はり、全年亦日露事件の功績に依りて勳七等青色桐葉章及び金壹百圓を授與せられ、其他各種の賞状賞盃等を贈られし事甚だ多し、以て如何に氏の功績の偉大なるかを知るに足るなり。

明治十年林業の頽廢を憂ひ奮然起つて造林事業を奨勵し、部落有林の整理をなし、明治廿三年には居村々治の紊亂を憂ひ、青年會を組織して其整理を行ひ、郡會議員、東京府農會議員、郡參事會員等の公職に歴任し、明治卅七年村長に就職して、本村外數村共有の入會林五百三十餘町歩の整理を行ひ、専ら産業の發達を圖り、勤儉貯蓄を奨勵し、村内青年男女の教育に腐心し、風紀の改善を圖り、道路橋梁を修理して

交通の便を計り、農事品評會を起して農蠶業の改良發達に努方し、公共事業の職にあること二十余年の長日月公務に勤勉して些も懈怠の色なし、其功績や洵に偉大なるものあり。明治四十一年東京府農會より其功勞を表彰されしを始めとし、公共團體より賞狀感謝狀及び銀製花瓶銀盃其他の贈與を受けし事甚だ多し、實に氏の如きは以て他の龜鑑たるべきなり。

生沼金太郎君

南多摩郡日野町下田

夙に農事に盡瘁するところあり、明治廿九年村農會を設立し之れが會長に擧げられ、其事業として肥料及び種子の共同購入を始め、明治三十年には東京府農會創立委員に擧げられ、全會成立以後其議員となり、南多摩郡農會幹事となり、全三十四年には日野町々會議員に撰ばれ、全年全町農會副會長となり、専ら農事の改良進歩發達に盡瘁す、其功績洵に多大にして、全三十九年には大日本農會の功勞賞狀を受け、全時に綠白授章を贈られ、全四十一年には東京府農會より功勞賞並に賞盃を贈與せられたり。

關根保太郎君

南葛飾郡奥戸村大字曲金

明治廿八年三月奥戸村農會を設立し、選ばれて之れが會長となり、全三十一年南葛飾郡農會議員に當選し、全會副會長に選ばれ、全年東京府農會評議員及び耕地整理調査會委員に選ばれ、其他奥戸村々長、農産物品評會審査員等の公職に就き、専ら村治に意を注ぎ、至難事業たる耕地整理の完成をなす等、農事に盡くせるの功績洵に顯著なるものあり。明治三十八年五月大日本農會總裁宮殿下より紅白綬有功章を賜はり、全四十年には名譽賞狀を下賜せられ、全三十九年日露時局當時の功績に依り勳七等青色桐葉章及び金五十圓の贈與を受け、其他の賞狀銀盃等を贈られしこと甚だ多し。

下田 伊左衛門君

西多摩郡西多摩村

夙に農蠶業の改良發達を圖り、明治十年頃より各地を視察し、全十二年八月西多摩村々會議員に選舉せられしを始めとして各種の公職に就き、蠶業の進歩は桑園

の改良にあるを悟りて、良苗を得之れを地方の有志に頒與し私財を投じて蠶業に關する講究、品評會等を開設し、各地に開設せる品評會には自製の繭を出品して賞を受け、明治二十二年西多摩郡選出神奈川縣會議員に選舉せられ、全廿三年第三回内國勸業博覽會審査官を任命せられ、其他品評會共進會等の審査員を囑托せられし事甚だ多く、養蠶業の外には亦麥種の改良に盡瘁し、各地の招聘に應じては蠶業に關する講話を爲し、各種の公共事業に金圓を寄附し、明治三十年には東京府會議員に選舉せられ、全年郡農會議員に擧げられ、成進社と云ふを組織し養蠶業の改良發達を圖り、其傳習生を出せる事幾百名なるを知らず、明治三十四年西多摩村々長に推選せられ、後亦再選せられ、全四十年には西多摩郡會議員に當選し、水利の便を圖りて村民に其利を得せしめ、教育事業に干係しては金員其他の寄附をなし、其他公共事業に干與して功果の擧がれるもの實に枚擧に遑あらず、其功績の偉大なる他の企及し難きものあり、明治四十一年九月大日本農會總裁宮殿下より賞狀及び金盃一個を贈與せられしを始めとして、賞狀、謝狀、金圓等の授與を受けたる事幾回なるを知らざるなり、以て如何に氏の功績の顯著なるを知るに足る、氏の如きは實に農界罕に見るの士と謂ふべきなり。

牛込 金三君

南足立郡梅島村大字島根

明治廿年東京府會議員に當選し、全廿二年梅島村々長となり、就任中、小學校の建築、村内道路橋梁等の改良事業を完成し、村農會及び個人として農事の改善發達に盡瘁し、小作人保護の法を講じ、明治三十一年府農會議員に當選し、農事試験場を設置せる等、其功勞洵に顯著にして、推獎に値すべく、明治四十一年東京府農會より賞狀を贈與せられ、其功績を表彰せられたり。

井田 忠信君

豊多摩郡千駄ヶ谷町大字千駄ヶ谷

明治二十六年六月より、現今に至るまで引續き町長の職にあり、尙郡會議員の職に就き、現今府會議員、府參事會員等の職にあり。夙に心を農業、教育及殖産事業に盡し、明治廿七年東京府下各郡に農談會設立の急務なることを唱道し、各郡有志者に檄を發し、東京府廳に會し、協定の結果創立委員に擧げられ、之れを府知事に圖り農會準則の發布を建議し、其發布あるや率先して各町村有志の門を叩き、農事改良

の忽緒に付すべからざることを勸告し、東多摩南豊島兩郡の農談會を組織し、大いに斯業の啓發に資す。又土地整理の必要を感じては、府農會に同整理委員會を設けしめ、着々として其成功を見るに至り、府農會の事業に關與しては、議員又は評議員となりて常に會務の擴張に努め、農事の改良進歩を圖る爲めには、品評會の必要を感じ、之れを開設せる事已に、四回に及び、短冊形苗代整理の急務なるを認め、之れが實施に盡瘁し、明治三十九年十一月東京府勸業博覽會開設の議あるに方り、府農會に於ける博覽會委員、副委員長となり、全會内農業部の事務に幹旋して功績多く、其他聯合農會代議員として、東京府農會より選出せられし等、農事に貢献せる功績實に偉大なるものありとす。明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より其功によりて褒狀を賜はり、翌四十年十一月全會より有功章を授與せられたり。尙全四十三年愛知縣に於ける聯合共進會東京府委員となり、農業部に於ける副委員長たり。

秋 木 喜 七 君

北多摩郡武藏野村境

夙に殖産興業に心を注ぎ、農業教育の普及を計り、産業の改良發展に専心盡瘁す

るところあり、明治三十三年より今日に至るまで、引續き村長の職に在り、全三十二年郡制實施の際郡會議員となり、郡參事會員を兼ね、全三十五年東京府會議員郡部會議長となり、現に府會議員、名譽職府參事會員、東京府土地收用審査員等の職にあり。明治三十一年農會設立以來、郡農會代表者及村農會長となり、又府農會代表者として引續き就職、全四十年開設の東京勸業博覽會には、農業部の副委員長となり、全四十三年愛知縣主催關西府縣聯合共進會に於ては、東京府農業部の副委員長たり。以上は氏の農事上に於ける功績の一斑に過ぎず、其功勞顯著なるの故を以て、官省より褒賞賞狀等を受けたること實に十數回に及べり。

京
都
府



波多野鶴吉君



木村良君



中田逸平君



中田庄太郎君



石原磯次郎君

三

日本農界名人鑑

(1)



君 郎 太 飾 立 尾



君 吉 彌 相 居



君 門 衛 左 重 原 榎



君 助 重 田 梅

京 都 府

木 村 良 君

綴喜郡三山木村

明治廿九年八月職を京都府農會技師兼幹事に奉じてより、四十一年四月に至る十有三ヶ年間に、常に京都府下農會發展に力を盡し、府立農林學校囑托教師、京都府技師、京都蠶業講習所囑托教師、府立農事試驗場囑托等を兼任し、京都府下農界事業にして氏の干與せざるもの殆んど在らざるなし、衆望の歸するところ衆議院議員に選ばれ、一意専心本邦農業界に盡しつゝあり。資性温厚、着實其質朴にして飾らざるの美風は、以て當世輕佻の習俗を誠むるに足る。氏の如きは蓋し得易からざるの人材なり。

波 多 野 鶴 吉 君

何鹿郡綾部町

(11)

京 都 府

明治十九年京都府蠶業取締所の組織に力を盡し、全廿一年推されて副頭取とな

り同廿四年全頭取となり後法律の改正に従ひ京都府蠶業同業組合聯合會組長となり、常に京都府下の養蠶製糸の改良に力を注ぎ、其門生を各地各所に派して蠶業技術を學ばしめ、又自ら諸國を巡回して其實況を觀察し、城舟蠶業講習所、養蠶傳習所等を設けて當業者の子弟を養成し、三十四年八月郡是製糸株式會社の創立せらるゝや社長に推され製糸の範を示し蠶糸業に關する施設經營に至らざるなし。官其功を賞して綠綬褒章を下賜す、實に京都府蠶糸界の重鎮たり。

田 中 逸 平 君

南桑田郡大井村

明治九年より今日に至る三十有餘年間常に身を公共事業に委ね町村組合會、村會議員、學務委員、勸業委員、村長等に任じ、明治廿九年より以後今日に至る十有四年南桑田郡農會長となり、南桑田郡の農事改良上に盡力せること多く功績尠なからざるものとす、三十年以來今日迄蠶糸同業組合長及卅六年より今日に至る郡産牛組合を兼任し、三十八年府會議員に選ばれ、卅九年有限責任大井信用購買販賣組合を設立して其理事となる。氏質朴にして心身強健、其勤勞勉他の企及すべから

ざる所あり、今や齡既に六十に近きも鏗鏘として多年一日の如く公共事業に盡しつゝあり。

石 原 磯 次 郎 君

紀伊郡吉祥院村

夙に殖産興農に志し農業團體を設くる必要を覺り、有志者と相謀り明治二十年興農會を組織し會頭となり、農事の改良發達を謀りつゝありしが京都府管内を一團として歩調を一にする必要を感じ、二十三年八月農事協會を設立せり、是れ京都府農會の濫觴にして翌廿四年十月更に組織を改めて京都府農會と稱し、翌年より事業を開始するに至りて其幹事に擧げられ、一意農事の改良發達を企圖し共同苗代、農産物品評會、製糸場其他農業諸般の施設に干與し啓發誘導至らざるなし。明治廿五年府會議員に當撰し、廿八年五月吉祥院村長に選舉せられ、村治に盡すこと四年にして辭職し、三十二年郡會議員に當選次て縣會議員となり、三十六年辭職、卅九年以來吉祥院村長となり自治の發達に努め、信用組合、青年會、村農會其他の領袖として指導し、村治の發達に力を致せるの結果今や京都府下に於ける模範村の一

に數へらるゝに至れり、其功勞偉大なりと云ふべきなり。

田中庄太郎君

船井郡園部村

明治三十五年職を船井郡農會技手に奉じてより今日に至るまで、一意郡内の農事改良に努力し、産業組合、耕地整理、畜牛蕃殖、共同苗代、農事試験、採種場、農談會等諸般の施設獎勵は郡内に冠たり。殊に産業組合の如きは、その數に於ても、成績に於ても共に府下の隨一にして、率先模範を示し、郡内農村の自治を進めつゝあり。氏資性温厚篤實にして、其熱心努力は多く、他に類を見ざる所、今や船井郡農會は府下に於ける郡農會の模範たり、之れ氏の盡力に負ふ所大なるものとす、故に府知事の表彰する所となれり。

松本修三君

竹野郡郷村

氏は夙に二宮翁の遺訓を尊重せるが、今より廿餘年前同村の風俗頹敗し殆んど

廢村同様の有様に立至れるを慨し、明治二十四年有志と計りて共同貯金を開始し、廿七年全部落を網羅して信用興産組合と名づけ、貯金を獎勵し、低利に貸附金をなし、専ら勤儉貯蓄の美風を養成せり。明治三十六年選ばれて村長となりし以來、能く村治を計り、農事の獎勵に努め、村内蠶業の振はざるを憂ひ、養蠶巡回教師を置き、毎戸に其飼育法を教示し、一面繭糸生産販賣組合を組織し、製絲の改良販路の擴張を計り、其他稻作の改良を企圖し、公有林野の整理を爲す等、専ら村治の發展に全力を注ぎ以て範を他に示せり。

足立鈔太郎君

天田郡福知山町

明治二十九年四月天田郡農會書記に就任し、卅二年技手に任じてより今日に至る十有四年間、常に會長を助けて天田郡の農事改良事業に盡瘁し、畜産の獎勵、植樹獎勵、産業組合、農業教育、農事試験、種苗配布、耕地整理及副業の獎勵等諸般の施設獎勵は、船井南桑田兩郡と相伯仲して、府下郡農會の範を示すに至れり。氏資性温厚篤實にして、寡言、其職務に對するや、眞に忠實熱誠、天田郡の今日ある所以蓋し氏に

負ふ所尠なからず、之を以て曩に府知事は氏を表彰せる事ありたり、以て其一斑を察知すべし。

榎原 重左衛門君

天田郡上豊富村大字奥榎原

明治二十二年區長となるや一意専心奥榎原部落の啓發に勉め、先づ區有山野の荒廢せるを憂ひ、之れが整理を企て同部落民の激烈なる反抗に遇ひしも屈せず、撓まず遂に之れを斷行し、造林を行ひ桑園を作り、一面には青年會婦人會等を設けて風紀の矯正に努めたり。殊に特筆すべきは同盟金融社の創立にして、氏自ら之れが社長となり貯蓄を奨励し、低利にて資金を供給し、以て殖産興業に資し、其他各種事業の共同經營を企圖せし結果、今や同部落は京都府下の模範部落として他村に範を示すに至れり。其功勞洵に多大なりと謂ふべし。

居相彌吉君

天田郡上夜久野村

上夜久野村は曾て村民奢侈に流れ、遊惰に耽り爲めに民力減耗し、其土地の多くは他村民の手に歸して甚だしき悲境に沈淪せり、されば氏は明治三十二年村農會長となりし以來、自村の振興を計らんとし苦心計營至らざるなく、先づ村是を調査して將來の方針を定め、着々之を實行し、農蠶業の改良、勤儉貯蓄の奨励及び婦女子にも勞働を尊ぶ美風の養成等、其事蹟に見るべきもの尠なからず、就中農蠶業の奨励の爲め、繭米品評會を開き、各出品の成績を調査して其結果を直ちに實地に應用し、著るしき効果を收め、斯業の改良發達をいたせり。殊に氏は養蠶業に熱心にして、明治二十六年地方蠶業改良の目的を以て私立養蠶傳習所を設立し、技術者の養成と蠶種の製造を爲し、年々業務を擴張し今日に至る。又明治四十年以來、蠶種貯藏庫を建設して、地方養蠶家の委託蠶種を貯藏せる等、地方蠶業の改良發達を促したる事甚だ大なり。今や上夜久野村は府下に於ける模範村となり、其村是調査書は第四回内國勸業博覽會に於て褒狀を授與せられたり、之れ氏の盡瘁與つて力あるなり。

梅田重助君

竹野郡溝谷村

資性温厚夙に心を農事に傾け居村溝谷川の幅狭く且兩岸に堤防なく動もすれば雨水汎濫して沿岸田圃の害を被ることあるのみならず砂礫充填して忽ち荒廢に化するを慨し明治六年小字竹ヶ鼻より竹野川に達する延長千七百四十間の川幅を擴張し以て堤塘の築造を首唱せるに村民服せず異議百出せるも毫も屈せず懇ろに其利害得失を明にし遂に工を起すに至り拮据電勉之れを竣成し爾來河水汎濫の患なからしめたり。明治三十八年には溝谷村の耕地整理を勵行し其他農具の改良副業の奨励等努めざるなし。氏は溝谷村惣代戸長並に村長村會議員竹野郡蠶糸同業組合副組長其他の公職に従事し竹野郡の農業界に盡せる功蹟洵に尠なからざるなり。



木 廣 周 茂 君



三 杉 長 兵 衛 君



木 下 直 三 郎 君



豊 善 太 郎 君

大 阪 府

五



伊井今太郎君



魚田喜太郎君



西村宗逸君



家村寛太郎君

大阪府

末廣周藏君

西成郡神津村大字堀上

明治廿七年四月神津村農會長となりし以來、大阪府農會評議員、大阪府主催農具及家畜品評會に於ける農具審査委員、西成郡農會副會長等を歴任し、農事の改善に盡瘁する事多年一日の如く、各地の農産物品評會等へ出品して賞を得たる事甚だ多し、明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より其農事に關する功績及び農村の風紀改善の功により名譽褒狀を賜はり、其功を賞せられたり。

三杉長兵衛君

東成郡田邊村大字北田邊

資性果斷にして夙に心を農事の改良に注ぎ、只管斯業の改良發達を企圖し、勤儉貯蓄を奨勵し、實踐躬行自ら進んで農村青年を指導し、風紀の改善に腐心す。田邊

村は由來土地の灌漑排水不便にして會々夏季強雨あれば直ちに農作物に被害あり晴天打ち續く時は忽ち早魃の憂あり。稻作收穫上多大の不利ありしかば明治四十一年非常の盡力を以て灌漑水の便を圖りたれば農民之れを徳とする事甚だしく、氏を神の如く慈母の如く敬慕しつゝあり。其他道路の改修、溜池の新設、共有土地の開墾等其實蹟を擧げたるもの甚だ多く、斯く農事に奮勵するの傍ら東成郡農會副會長、大阪府農會代表者、村長、村農會會長等の職にありて公共團體の爲めに力を盡し、其功績洵に顯著なるものとす。故に明治四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下より表彰せられたり。

木下直三郎君

三島郡吹田町

明治三十二年三月吹田村農會長に當選するや農事改良獎勵、風紀改善實行害蟲驅除豫防、共同苗代の設置、苗の正條植等を獎勵し、一度村長の職に就くや八星霜の長き間朝夕其身を忘れて村治に留意し、灌漑の便を圖り、教育を獎勵して校舎を建設する等農村の爲めに盡瘁せるもの一にして止まらず、而して公事に對して幾多

の公職に就かれ、熱心勉勵只管其の責を盡さん事に努む、氏の如きは洵に得難き人材なり。明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より表彰せられしを始めとし謝狀褒狀等を受けたる事實に枚舉に遑あらざるなり。

勳八等 巽善太郎君

豊能郡北豊島村大字井口堂

明治廿六年北豊島村農會長に當選し、全年豊能郡農會の設立に當り其創立委員に選ばれ、後副會長となる、其後廿九年郡農會々長に選ばれ、後同村々長となりて農事の改良教育の普及等専ら村治に盡瘁す。明治卅九年四月勳八等に叙せられ青色桐葉章を賜はりしを始めとして、其功績の大なるに由り銀盃賞狀等を受けたる事甚だ多し。

梅川豊吉郎君

泉北郡久世村大字東山

明治廿二年大島郡深井村々長に當選以來、教育會、府農會、府參事會等の要職にあ

りて村治に盡瘁すること多年、現に大阪府参事會員、大阪府農會副會長、大阪府畜産會副會長、大阪府泉北郡久世村々長等の公職にありて、勉勵多年一日の如し、眞に得難き人材と云ふべし。

富岡治郎君

泉北那風村大字大鳥

明治廿四年大阪府立農學校農科卒業後、其修めし農事上の新智識を以て教育に農事に盡くせるの功績甚だ多し。明治卅四年大阪府より害蟲驅除豫防事務取扱を囑托され、翌年大阪府農會技師に任じ、今猶ほ其職にあり。明治四十一年十月大日本産業組合中央會大阪支會理事に當選せる外公職に就かれし事甚だ多し。

今井伊太郎君

泉南郡田尻村大字吉見

明治十九年父佐平次氏より祖先傳來の農業を繼承し、始めは製糖業に従事し、後玉葱、西洋大麥の栽培を奨勵せり。全廿五年有志者と謀りて農肥會なるものを創設

し、大に貯蓄を奨勵し、共同肥料購入資金に充用し、爲めに肥料購入上非常の利益を享けつゝあり、爾來本會理事として銳意業務を擴張し、明治卅二年吉見農肥組合と改稱す。其他氏の公職に就かれたる功績は甚だ多くして、實に枚舉に遑あらざるなり。

喜田龜太郎君

南河内郡黒山村

明治廿四年六月始めて職を村役場に奉じ、専ら公衆的勸業の事務に従事し、全廿九年十一月南河内郡役所農務掛となり、傍ら郡農會幹事、全書記を兼務し、博覽會共進會品評會等の委員をも兼ね、只だ農事の發達進歩を圖るを以て自己の生命とせらる、眞に其犠牲的生涯は當代罕に見るところなり。

西村宗逸君

中河内郡西六郷村大字中野

明治廿八年以來河内郡農會副會長及西六郷村農會長として今日に至るまで、只

管農事の改良進歩に盡瘁さる。其他種々の公職に就かれ其功績の大なるより、褒賞等を得たる事頗る多し、即ち明治卅五年七月賞勳局より永年公共の事業に盡力したる廉により藍授褒章を下賜せられ、全四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下より農事改良獎勵及實行に對する名譽賞狀を下賜せられし如き、其重なる者なり

家村寛太郎君

北河内郡招提村

夙に農事に志厚く、其改善を企圖するや久し、交野米改良組合長、北河内郡茶業組合長に推舉せられ、其職にある十數年銳意組合の發達に盡瘁し、改善を見たる事績尠ならず。曩に村長、府會議員の職に就きしも敢て鋤鋤を抛たず、一般地主の袖手坐食する弊風を見、明治廿六年振農團を組織して地主の自作を獎勵し、一面小作人肥料貸與の方法を設け、資金の供給を豊かならしめ、自ら種子の交換、移植、耕勸、施肥の方法を講究し、孜孜精勵怠る所なし、實に他の模範たるべきなり。此の故を以て曩に大日本農會總裁宮殿下より賞狀を賜はり、其功績を表彰せられたり。



大西善太郎君



平塚嘉右衛門君



長谷川兵次郎君



橋本新一郎君



三木勘二君

兵 庫 縣

九



吉田清治君



岩破泰平君



北村元吉君



波本部長郎君



廣田貫一郎君

兵庫縣

平塚嘉右衛門

武庫郡良元村ノ内小林村

夙に青年夜學會を起して農家子弟の風儀矯正に努め改良米組合規約を設けて米作改良種子一定共同販賣を爲し其聲價を高め又自己所有の林野に松、杉苗を栽植して殖林事業の範を示し、荒蕪の地を開拓し、園藝事業を起し、且つ同村農會長の職に選ばれてより農事講習會を設けて斯業の改善發達を圖り、其功績洵に顯著なり、故に明治卅九年三月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を賜はり、爾來孜孜營々専ら農事の改良發展に盡瘁しつゝあり。

大西善太郎君

有馬郡三輪村之内下田中村

氏は農家に生れ農業は世襲の業務にして、夙に農業の趣味を解し、農事の改善は

種類の選擇と肥料の改良にあるを信じ、各地を視察して大に得る所あり、自ら試作場を設け、良種を農家に配布して其栽培を圖り、耕地整理の一度唱導せらるゝや、卒先之れが實行をなし、其の利益の大なるを衆に示したるより、隣接村なる高次、桑原寺村の如きは此の有形的刺激に依りて直ちに耕地整理施行の議調ひ、今や其工事の大部分は成工するに至れり。斯く郡内各地に於ける耕地整理事業の盛んなるに至りたるは時運の然らしむる所なりと雖も、亦氏の卒先之れが模範を示したるに因らざればあるべからず。氏は資性沈着にして剛毅事に當りて勤勉なり、明治四十一年十一月藍授褒賞を下賜せられ、其功績を表彰せらる。

長谷川兵次郎君

加古郡神野村ノ内福留村

資性質朴篤實にして品行方正、種々の公職に就かれ、常に勤勉、卒先以て事に當るの傍ら農事の改善に深く留意し、東奔西走以て遊説指導に努め、自家の農作物の如き、衆に勝れたるものを産出して模範を他に示し、各所の品評會共進會等に出品して賞を受けたる事一再にして止まず。明治四十年共同苗代の獎勵せらるゝや、共

同苗代地として自己所有の土地を提供し、又居村の土地高燥にして用水乏しく爲めに作物の成育充分ならず、收穫少なきを憂へ、卅年以來在來の溜池を修補する事數ヶ所、卅三年該村上の山國有林拾餘丁歩の特別拂下げを受け、四町餘歩の溜池を新設し、約十町餘歩の田地を拓き、且つ用水を充滿せしむる等苦心經營至らざるなく、村民之れを徳とし、氏の爲めに農事功勞紀念碑を建設するに至れり。其他篤志の行爲甚だ多く、常に斯村の爲め、大小を問はず、献身的に力を盡し、而も純潔にして、毫も私心なきは、全く他の模範となすに足るべきなり。

三木拙二君

神崎郡田原村ノ内西田原村

氏は郡内に於ける富豪にして、家世々農を以て業とし、地方に於て名望最も高し、資性濃厚篤實にして、夙に農事の改良に志厚く、實踐躬行常に郷黨の先驅者たり。本郡は從來産米の種子甚だ粗雑にして、其種類も亦た多かりしに、氏は之れを以て米質改良の恨事となし、地方の農家を勸誘獎勵して、種子交換の必要を鼓吹唱導し、之れを行ひ自ら栽培したる良種を撰みて、農民に配布し、以て其模範を示し、益々種

子の一定栽培の改良を施すの重要なるを知らしむるに努め、其効空しからず、種類も漸次に一定し六七種に限らるゝに至れり。郡内に於ける果樹の栽培は従來甚だ稀にして、近來一般果實の需用を充たす事能はざるを慨し、西田原村字廣岡に於ける不毛の山野八百餘歩を開拓して模範果樹園を創設し、去る卅八年以來水蜜桃、苹果、梨、柿等を栽培し其結果甚だ良好なり。其他共同苗代の設置、小作人の愛護等氏の農事に關する功績は擧げて數ふべからず、屢次農産物を品評會共進會等へ出品して賞を受けたるなど、眞に農家の龜鑑と謂ふべきなり。

橋本新一郎君

揖保郡

白髮童顔にして霸氣あり、常に産業の不振を慨し衆に卒先して百方畫策終始一貫殖産興業に盡瘁す、即ち養蠶畜産の獎勵より明治三十四年郡農會の設立あるや之れが農會長となり、銳意農事の改良を圖り其成績亦見るべきもの尠なからず、卅九年及四十二年の二回大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀及び綠白綬有功章を下賜せられたり。氏の一生は頗る波亂に富み、複雑にして一言一句の能く之れを

盡す能はざれども、前半生に於ける幾多の困苦失敗は、後半世に於ける偉大なる教訓良師となりて現在に於ける成功を生みたり。氏は齡耳順に近きも尙ほ身心衰へず、其勤勉なる事壯者を凌ぐ。御殿山の梅林、西山の果樹園の如き皆氏の事業の片影なり、實に氏の如きは農業界の恩人と謂ふべきなり。

吉田清治君

安栗郡富栖村ノ内末廣村

資性温厚篤實にして、人に接する懇切丁寧なり。明治卅七八年時局の始めに當り、縣農會にて示したる農事改良の十大項目を實行せり、即ち稻の種類を一定せんが爲めに共同苗代を施設し、鹽水撰を實行し、縱横正條植及び害蟲驅除豫防等を獎勵し、肥料の配合、堆肥の改良に注意し、特に粗製ポッタース肥料の製造を獎勵し、補食用として馬鈴薯栽培の獎勵、稚蠶共同飼育の如き、農事の改善に盡瘁し、其効果の見るべきもの甚だ多し。其他農村風紀改善の機關として富栖村勤儉準則なるものを規定し、全村に於ける道徳と經濟の調和を圖り、山林植樹公有林の整理、村及び學校基本財産の經理、其他種々の公益の爲めに私財を投じて盡くしたるの功績は、實

に擧げて數ふべからざるなり。其一度村長となるや、再三選ばれて今猶ほ其の職にあり。明治卅九年三月大日本農會總裁宮殿下より農事改良農村風紀改善等の功績により表彰せられ、全年四月卅七八年事件の功に依り、勳七等青色桐葉章を下賜せられたり、實に氏の如きは優に他の模範たるに足るべきなり。

岩 破 春 平 君

出石郡資母村ノ内中藤ヶ森村

氏は温厚眞摯にして勤勉儉約己を持する至誠以て農村の繁榮に努む。資母村地方は由來良田に乏しく收穫豊かならず、之れが改良を必要とせしが氏は數年來數種の改良事業を實行し、範を他に示す。共同苗代を施設し、稻作正條植を奨勵し、改良堆肥の製造、肥料の共同購入等農事の改良進歩に盡し、其の功果の見るべきもの甚だ多し。又農家副業として養蠶、畜産、林業等を奨勵し、傍ら勤儉貯蓄を奨め、農家の資金を潤澤にし、地方青年の氣風日に墮落するを見て、其の矯正を圖らんが爲め、明治卅八年青年會を組織し、其會長として全會の振興に努むる所あり、漸次矯正の實を擧げ、現在にては地方の一模範村として推重せらるゝに至れり。之れ洵に

氏の父勢吉郎氏及び氏の德望並に事業の企畫經營其宜しきを得、献身的に全村の振興に努めたる結果に外ならざるなり。

北 村 元 吉 君

美方郡八田村ノ内千原村

資性温順品行方正、大に地方の人望を有す、明治十五年以來諸種の公職に就き、殊に殖産興業に盡瘁せし事最も大なり。明治廿四年八田村農會長に選ばれ、種々事業中殊に力を稻作の改良に致し、所有の田地を供して共同苗代を創設し、或は小作米品評會を開設し、米質の改善を圖り、専ら其模範を地方の郡村に示す。其他畜産の改良、山林の保護、増殖等氏の盡力によりて改善の實を擧げしもの數ふるに遑あらず、其功績洵に偉大なりとす。故に明治卅九年三月大日本農會總裁宮殿下より賞狀及び全四十年四月綠白綬有功章を下賜せられし外、農商務大臣縣農會長より厚く表彰せられたり。以て氏の功勞の如何に大なりしかを知るべし。

波部本次郎君

多紀郡日置村ノ内八上新村

氏は資性温厚にして若年より郡の公吏となり、常に仁慈の志篤く、意を農事の改善と勤儉貯蓄の奨励に盡くし、歴年の経験は種々の公共事務に當りて誤たず、教育に力を盡し、自他村内の紛議を調停し、屢々罹災者貧困者を救済し、峻坂難路を開鑿して交通運輸の便を圖り、私財を投じて道路の改修に努め、又心を殖林に注ぎ、杉、楡を栽培し、造林の模範を衆に示せる等の事績枚舉に遑あらず。現に本農會長の職にありて、鹽水撰の奨励、害虫驅除、共同苗代の奨励、農産物及畜産品評會の開催、種苗の購入配布、肥料の共同購入等氏の盡力によりて其効果の舉がりしもの頗る多し。明治卅二年十月其功により勅定の藍綬褒賞を賜はり、全四十年大日本農會總裁宮殿下より紅白綬有功章を賜はる。

廣田貫一郎君

津名郡大町村ノ内大町村

氏は夙に心を興農に注ぎ、志を樹藝の栽培に勵まし、衆に率先して桑園を開拓し

養蠶業の發達に力を盡し、又諸種の果樹を試植し、鳴戸蜜柑の有益なるを知りては、艱苦經營荆棘を開鑿し、以て一大鳴門園を開設し、苗木を栽培して頗る好結果を收め、後進者の模範となり、其他公共の事務に勤勉する事多年一日の如く各地博覽會共進會等へ出品して、優等の賞状を受けたる事甚だ多く、其功勞著明なり故に明治四十一年二月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞状を賜はり、其功績を賞せられたり。

長
崎
縣



日高主計君



一瀬久太郎君



藤原元之助君



木下敬太郎君



長信夫君



中岡幾一君

長崎縣

一瀬久太郎君

西彼杵村郡龜岳村大字下岳

氏は夙に公務に盡瘁し、明治三十三年龜岳村農會議員及び副會長に就職するに及び、害虫驅除豫防に最も意を注ぎ、村内教育事業を奨勵しては、金員を寄附し、農民を指導誘掖するや懇切至らざる所なく、各地の品評會等に出品しては賞與を受け他に其範を示せる事一再ならず、縣知事等より其功績の表彰を受けし甚だ多し。

山口福次郎君

東彼杵郡鈴田村

氏は資性篤實にして農を以て終生の業とし、常に意を農事の改良に傾け、肥料共同購入の便益を説き、且つ施肥の普及を圖り、其功績實に衆の模範とするに足る現に村會議員並に村農會評議員の職にありて銳意職務の遂行に盡しつゝあり。

木下敬太郎君

北高來郡諫早村

資性温厚事に當りて熱心忠實なり、農事改良に付きては最も熱誠を以て當業者を指導誘掖し、其發達進歩に裨益を與へたる事實に尠なからず。明治卅九年諫早村農會副會長及び評議員の職に就き、四十一年には、北高來郡農產共同販賣組合を組織し、其理事に推舉せられ以て今日に至る。農民亦よく氏を老農として其指導に従ひ、同村農事諸般の改善爲めに見るべきもの甚だ多し。

勳七等 深江東三郎君

南高來郡神代村

氏は資性敏活夙に農事改良に志厚く、他に率先開墾事業に従事し、養蠶業の發達を圖らんが爲め、各地の状況を視察し、造林を計畫し、道路を改修し、害蟲驅除豫防の獎勵を爲し、農家風紀の維持を圖り、米質及び俵裝の改良を圖りて産米の聲價を發揚せしめ、肥料及食鹽等の共同購入を爲して農家經濟の道を計り、鹽水撰を勵行して種子の改善を圖り、桑園を擴張し、農事講習會を設けて青年子弟の教養に心掛くる等、其功績の多大なる實に數ふるに遑あらず、而して村會議員、村長、郡參事會員、縣會議員等の公職に就きても大に勵精し、其聲望實に隆々たるものあるなり。

勳七等 中岡幾一郎君

南高來郡古部村

氏は資性温厚夙に農事改良に意を注ぎ、他に率先して稻作立毛品評會、又は苗代田立毛品評會等を開設して其成績頗る見るべきものあり、米穀の改良を圖り、農家を督勵して害蟲驅除を周到ならしめ、耕地整理を實行し、肥料共同購入又は米穀共同販賣の法を設けて農家經濟に裨益を與へ、稚蠶共同飼育所を新設して養蠶業の發達を促進し、果樹の栽培、青年會の組織、勤儉貯蓄の獎勵等農事百般の改良發達より農村風紀の改善に至るまで畫策其宜しきを得て、成績の舉りしもの甚だ多く同村をして模範村の名を得せしめたり、これ實に氏の功績によるなり。

力竹寅之助君

北松浦郡上志佐村大字高野

氏は村農會議員害蟲驅除委員等を歴任して専ら農事に盡瘁し、各處に開催の品評會、共進會等に自作農産物を出品して賞牌賞状等を得たる事甚だ多し。明治三十一年長崎縣農事講習所を修業し、農事に關する修養頗る深きものあり。

日高主計君

北松浦郡中津良村

明治廿五年中津良村會議員に就任せられしを始めとし、全三十三年全村農會長及び助役等に歴任し、専心農事の改良發達に盡瘁し、其功績洵に顯著なり。

藤原元之助君

南松浦郡久賀島村

夙に勸業に意を用ひ殖林事業に盡力し、稻作害蟲驅除豫防に努め、特に施肥の獎勵を爲し、其利の大なるを農民に知らしめ、種子の鹽水撰を勵行せし等農事の改良

發達に盡くせるもの多大にして其効果亦大に擧れり。明治廿八年藍綬褒賞を賜はりしを始として、賞杯賞状等を授與せられし事甚だ多し。

松坂嘉十郎君

壹岐郡柳田村半城

氏は夙に村會議員害蟲驅除委員、村農會副長、同代表者名譽會員、各種品評會、共進會等の審査員、其他多くの公職に歴任し、農事の爲めに盡くせるの功績偉大なり。明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より農事改良の獎勵實行の功を賞せられ、名譽賞状を下賜せられ、各地に於ける共進會、品評會等へ農産物を出品して賞を得たる事頗る多し。

長 信 夫 君

下縣郡嚴原町大字久田

明治廿一年久田村外九村聯合會議員に就任せられしを始めとし、各種の公職に就かれ、専ら力を農事及び殖林の事に致し、明治四十年には長崎縣々會議員に選舉

新
潟
縣



川上善兵衛君



渡邊三左衛門君



眞島桂次郎君



富永孝太郎君



高橋九郎君

一三

せられたり、以て如何に氏の人望の厚きかを知るべし。

新潟縣

渡邊三左衛門君

岩船郡關谷村大字上關

明治廿九年以來郡農會長に擧げられ、全三十七年に至る九年の長日月よく其職を盡し、村農會長となりては共同短冊形苗代を獎勵し、米質改良の目的を以て全卅一年以來小作米品評會を開催し、全卅五年自己所有地に模範耕地整理を行ひて他に其範を示し肥料として大豆粕を購入し小作人に試用せしめ、其他産業組合の如き綠肥栽培の如き何れも氏の計畫よろしきにより効果の擧がりしもの實に尠なからず。其功績大なるを以て明治四十二年四月大日本農會總裁宮殿下より有功章を下賜せられ表彰するところとなりたり。

新 潟 縣



山賀五平君



三輪振次郎君



片桐竹之丈君



金子紋平君



茅原鐵藏君

川上善兵衛君

中頸城郡高士村

明治卅三年高士村長に就任再三選任せられ、又同時に農會長をも兼任し、全卅四年よりは其事業として試験田數十區を設置し、種類試験肥料試験及び耕耘の順序等を講究し、以て農事の改良進歩に資するところ甚だ多かりき。其他耕地整理に盡瘁し、葡萄の栽培を爲し、教育事業に盡力し、各地の共進會品評會等に出品し、賞與を贈られし等、以て他の龜鑑たるに足るべきなり。

眞島桂次郎君

北蒲原郡濁川村大字濁川

氏は夙に農事の改良進歩を圖るには多數の一致協力によるべきを首唱して、勸農會を起し、専ら縣下農業の進歩と農民の親睦とに斡旋し、農家子弟の智識涵養に努め、耕地整理の利益大なるを説きては之れを他に奨勵し、蔬菜果樹の栽培、蟲害驅除、豫防、苗代田の改良、種苗の配布、人造肥料の配布及共同購入等、多年一日の如く盡瘁して怠る事なし。其他農村風紀の改善を圖り、同村をして模範村の一たるに至らしめたり。

らしめたり。

高橋九郎君

三島郡來迎寺村

衆議院議員、其他數種の銀行會社取締役、頭取等に就任せるの傍ら、専ら農事に盡瘁し、明治三十六年より村民の副業として蘭草栽培及び蘭莖製造を奨勵し、小作人保護及び風紀改善に盡瘁し、効果の見るべきもの甚だ多く、明治三十九年大日本農會總裁宮殿下の表彰するところとなりたり。

富永孝太郎君

中頸城郡美守村大字神田

夙に泰西農學研鑽に志し、明治十九年北米加州に渡航、大學に入りて専ら農學を修め、全廿四年歸朝後、其學殖を實地に應用し、郡内耕地整理産業組合の設立等に盡瘁し、効果の舉りしもの洵に尠ならず、郡農會長としては明治三十二年三月設立せる當時より今日に至るまで引續き其職にあり、其他産業組合本縣支會副長、縣郡

地主協會の評議員等の職にありて専ら農事に盡力しつゝあり。

三輪振次郎君

三島郡與板町大字與板

氏は夙に學農社同志社等に入りて學を修め果樹の栽培及び養蠶には最も盡瘁す、本縣下第一流の養蠶家たり。現に三島郡會議長、農會副會長、郡蠶糸同業組合長等郡内主要なる機關の中樞となりて盡瘁しつゝあり。氏は資性濃厚篤實質素にして謙讓實に圓滿玉の如き人なり。

山賀五郎君

西蒲原郡松野尾村

氏は農事に専ら盡瘁し、明治十年頃より果樹栽培に意を注ぎ、小麥の改良を企て諸種試作の結果、米國加州種の良好なるを認めて村内に其普及を圖り、林業、養蠶業、桑樹栽培等に盡力し其功績甚だ大なり、明治三十年十一月藍綬褒章を下賜せられたり。

片桐竹之丈君

北蒲郡神山村

夙に農事に盡瘁し、明治二十年以來私立試作場を設けて農事の改善に資し、水田に二毛作を試み其栽培結果を公表し、馬耕を奨励し、農談會に出席して農事に關する講演をなし、農民の智識涵養に努め、明治四十一年本郡農會副會長に當選就任せらる。明治二十九年綠綬褒章を賜はりしを始めとし、各種の表彰を受けたる事甚だ多し。

茅原鐵藏君

佐渡郡金澤村

専ら農事の改良進歩に意を注ぎ、明治十八年東京駒場農科大學に入りて農學を修め、爾來各地に農事に關する講話等をなし、農民智識の涵養に努め、明治廿八年佐渡郡農會副會長に選舉せられ、害虫驅除法を考案し、各種の著作をなし以て農家智識の啓發に資し、殖林を奨励せる等其功績洵に多大なり。明治四十二年新潟縣知事より其功勞を表彰せられたり。

金子紋平君

南蒲原郡森町村

明治三十三年郡農會代表者となり、郡會議員其他各種の事業に關係して専ら農事の改善に盡瘁す。各種品評會、共進會等へ生産品を出品して賞を受けし事甚だ多く、明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より農事改良の獎勵及び實行に對し名譽賞狀を下賜せられ其表彰するところとなりたり。



角田嘉右衛門君



小野善兵衛君



長谷川權之丞君



神戶三郎君

群馬縣

群馬縣

角田嘉右作君

勢多郡横野村

資性剛毅夙に蠶業の改善に志し、率先して蠶種の共同購入を奨励し、又は育蠶法の改良を圖り、或は製糸場を創立して生絲の粗製を矯正する等、大に蠶業に裨益を與へ、關係町村を糾合して赤城原野の殖林に盡瘁し、其他農會の設立及び蠶種検査法の發布に力を致し、若くは私の實業機關に參與し、拮据勉勵多年一日の如く其功績洵に著大なりとす。仍て縣農會より農事功勞賞牌を贈與され、表彰するところとなりたり。

長谷川 權之丞君

利根郡薄根村

夙に農蠶業の改良に志し、屢々私財を抛て講話會を開き、一般農家の智識を啓發

群馬縣



野野金次郎君



中山重兵衛君



松本惣藏君



武藤幸逸君

すると同時に、試作地を設け、種類の選擇及肥培の方法を試験し、品評會を開設して改良の實蹟を衆に示し、以て之れが實地普及を圖り、他町村に先んじて農會を設立し、推れて之れが會長となり、銳意諸般の業務に鞅掌し、耕地整理法の一度發布せらるゝや、直に之れが實施を圖り、進んで其發起人となり、晝夜奔走勸誘指導に至らざるなく、遂に其効果を擧げ、他に好模範を示すに至れり、加ふるに縣郡町村農會の組織並に其業務に參與し、後進の誘掖指導に努むる等、實業に勵精し、拮据經營多年一日の如し、衆人其徳を唱せざるなし。其功績洵に著大なるを以て縣農會の表彰するところとなりたり。

毛呂佳太郎君

新田郡綿打村

資性温厚篤實、夙に心を興農に注ぎ、農會の設立に最も力を致し、後縣郡村農會の役員となり、又縣下に率先して耕地整理の事業を起し、推されて其委員長となり、自ら測量設計を擔當し、克く百難を排して遂に數百町歩の整理を終了し、好模範を他に示せり。又生絲の粗製濫造を憂ひ、之れを改善せん爲め有志を糾合し、佐波新田

生絲同業組合及び群馬縣蠶絲業同業組合聯合會を組織する等、實業に勵精し、其功績洵に顯著なりとす、仍て縣農會より賞牌を贈與され、其功勞を表彰されたり。

小野善兵衛君

利根郡桃野村

資性温厚夙に心を殖産に注ぎ、衆に率先して肥料及種苗の共同購買を圖り、以て當業者に裨益を與へ、又品評會を開きて蠶業の改良を奨勵し、桃野精絲會社を組織し、粗製を矯め、其他實業補習學校の設置に盡力し、縣郡村農會の役員となり、専ら事業の擴張を賛ぐる等、其功績洵に著大なりとす。仍て縣農會の表彰するところとなりたり。

神戸禎三郎君

北甘樂郡馬山村

資性温厚篤實、夙に公益事業に志し、久しく村長の職にありて、勵精頗る努む、殊に心を殖産に用ひ、秋蠶種共同購入の途を發き、近郷に利益を與へ、又は生絲揚返所を

創立して之れが改良を奨励し、其他多年馬山村農會會長、北甘樂郡農會副會長の職にありて勤勉事業の發達を圖りし等、其功績洵に顯著なりとす、故に縣農會は其功を賞して功勞賞牌を贈與し、以て其功績を表彰せり。

中山重兵衛君

多野郡神流村

資性温順常に興農に心を致し、試作地を設け普通農作及栽培上の諸試験を行ひ各種害虫の原因及び其豫防法の研究をなし、其結果を世に知らしめ、或は廣く郡村の需に應じ、實驗談をなして地方の爲めに裨益を與へ、又農具を貸與して斯業の改善發達を奨励する等、一般農家に利益を與ふる事實に尠ならず、其功績甚だ多大なり。故を以て縣農會は農事功勞賞牌を贈與して、其功勞を表彰せり。

武藤幸逸君

山田郡休泊村

資性篤實風に志を殖産に注ぎ、共農社を起し、試験地を設け、穀、果、樹、蔬菜の栽培

をなし、其良種を衆に分與し、品評會を開きて種藝の發達に努め、荒蕪地を拓き、田區を改正し、耕地整理及排水の利益を衆に示し、桑園を設けて蠶業に努め、又農家副業の模範を示さんが爲め、家禽養豚の業を創め各地の需めに應じて其實験談を講演し、以て當業者を啓發するところあり、其他農會の設立及各種の實業機關に參與し、精勵多年斯業の發達を賛けたる事實に尠ならず、其功績洵に著大なりとす。仍て縣農會は其功を賞し、賞牌を贈與して表彰するところありたり。

狩野金次郎君

群馬郡古卷村

氏は夙に農事に盡瘁すること深く、農事改良の普及を圖るには農業教育の奨励にあるを想ひ、奮つて東京市教育會小學校教員養生所に入り、研磨年餘正教員の資格を得、職を同村小學校に奉じ、以來今日に至るまで拾有餘年、一日の如く勤儉德行能く其職に勵み、爲めに大に郷黨の欽慕を受くるところとなる。又氏は教職にある傍ら一面農事改良に意を注ぎ、講習會、講話會等を開きて其必要を説き、又自ら桑園、桑苗の改造、稻、麥、粟の良種選擇及蔬菜の栽培法等を普及し、風紀の改善を圖る等、

農事改良獎勵上及教育上氏が指導貢獻によりて効果の舉りたるもの實に尠なからず其功績洵に偉大なりとす。

松本惣藏君

佐波郡豊受村

夙に殖産の道に志し、農事の改良に努力する事多年、衆望を擔ひて明治三十年以來村長となり、一層村民の誘掖指導に盡くし、近くは四十一年肥料共同購入並に理想的肥料の配合法を實行し、其利益の幾部分を蓄積し、以て肥料購入資金を作り、凶年の準備に供し、農蠶に關する各地の事業視察其他専門技術者の招聘等、諸般の指導誘掖に盡瘁すること多年一日の如く、衆皆其德を稱せざるものなし。



湯淺常徳君



平野仙太郎君



牧野經太郎君



松丸直吉君



石毛丑太郎君



齋藤清平君

千葉縣

千葉縣

鵜山喜一郎君

安房郡豊田村杳見

明治三十年安房郡農會朝夷農會幹事に選任せられ、全三十三年安房郡農會評議員に當選し、全三十四年十一月全地耕地整理委員長に當選し、至難の事業たる耕地整理の實を擧げんが爲めに、大に盡瘁するところあり、全三十五年四月千葉縣農會稻作改良獎勵、害蟲驅除豫防委員を囑托せられ、全年十二月其盡力の功に依り慰勞金貳拾圓贈與せらる。全三十六年安房郡農會幹事に選任せられ、全三十七年千葉縣勸業視察員として滋賀奈良大阪其他一府七縣へ出張して、大に斯界に貢献するところあり、全三十八年安房郡農會幹事長に當選し、其他米麥作改良委員、産業調査委員、水田排水獎勵委員等を囑托せられ、斯界に貢献せるもの甚だ多く、其功に依り金圓の贈與を受けたる事多數なり、明治四十一年十二月大日本農會より農事改良の獎勵及實行の功に依り、名譽賞狀を受領し、今尙ほ孜孜として斯界の爲めに盡瘁

しつゝあり。

湯 淺 常 德 君

印旛郡船穂村惣深

一夙に各種の公職に従事して、勤勉能く其職を盡し、勵精の譽高く、農事改良の實を擧げんには團體の力に俟つもの大なるを認め、有志者を勸誘して印旛郡農會を創設し、爾來幹事の職にありて常に難局に當り、辛苦經營十有餘年一日の如く、會務を整理し、着々として其實を擧げしめ、殖産興業を奨勵し、實驗攻究耕種の改善を圖り、試作簡選良種の播布に力め、明治三十五年には印旛郡農會幹事に當選、全三十七年印旛郡農會副會長に當選、全四十年船穂村農會長に當選せり。氏は總て事に當りて熱誠電勉、些も利慾の念なく、幾多の公職に就き、其勤勉なるの故を以て金圓を賞與されたる事甚だ多く、明治四十年一月千葉縣農會より功勞章を贈られしを始めとし、全年大日本農會より農村風紀の改良、農事改良の奨勵及實行の功績顯著なるの故を以て表彰せられ、其他公私の團體等より感謝狀、銀盃等を受けたる事、實に枚舉に遑あらざるなり。以て如何に氏の斯界に對する功績の大なるかを知るに足

るべきなり。

平 野 仙 太 郎 君

香取郡府馬村

明治廿二年自治制施行以來村會議員、學務委員、學校新築委員、助役、村長等の職に就き農會事業には村農會長として明治三十三年四月より四十一年三月まで就職し、目下郡農會副會長、全會代表者、耕地整理委員、村會議員、區會議員、學務委員、有限責任府馬村古内信用販賣購買組合理事兼組合長等の要職にありて銳意事に當り、今日に至るまで農事改善の方法には最も腐心するところにして、稻作試驗、病害蟲驅除、村農會及農友會の發展に務めたり。又明治四十年には府馬村耕地整理の發起人となり、氏は大字古内を分擔し、四十二年二月着手、四十四年二月末其竣工を見る。明治三十九年五月大日本農會總裁宮殿下より其功績大なるの故を以て賞狀を賜はり、全四十一年五月大日本弘道會長より銀色功勞章を贈與さる、以て實に氏の功勞の大なるを證するに足る。

牧野經太郎君

長生郡關村北日當

氏は明治廿六年村會議員當選以來、各種の公職に就きて能く其職責を全ふし、全卅二年長生郡々會議員に當選、全卅七年には關村農會副會長に推薦せられ、明治四十一年長生郡農會評議員並びに郡農會代表者に選舉せられ、全年長生郡農會米麥作改良、堆積肥料、害蟲驅除獎勵員を囑托せらる、其他各種品評會審査員、世話掛等を囑託せられ、直接間接農事の改良進歩に力を致せるもの實に尠なからず、其功勞偉大なるの故を以て明治四十一年大日本農會より名譽賞狀の贈與を受け、其他博覽會、共進會等に出品して賞を受けたる事故擧に遑あらず、明治四十三年大日本蠶糸會、千葉支會長生郡副部長、及同郡害蟲驅除監督員に囑托せらる。

谷中門治郎君

君津郡鎌足村矢那

夙に農事の爲めに盡瘁するところ多く、村會議員、村農會長、其他の公職に従事して勤勉勵精、其職務勉勵の功によりて金圓の寄贈を受けたる事實に枚擧に遑あらず。

又自家農産品を各種品評會、共進會等に出品して賞を受けたる事頗る多く、明治三十年八月村農會創立に際し、其會長となり、爾來十有二星霜、一意専心農事の改善及び其實行に腐心し、一面には農村風紀の改良、農業教育の獎勵等、斯界に盡くせるの功績甚だ多し。明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を下賜せられ表彰するところとなり、翌四十一年鎌足村農會よりは感謝狀に添ふるに銀盃一個を贈呈せらる。斯くの如く諸種の謝狀賞盃等を得たるもの一つに、氏の事にあたりて熱誠些しも私慾の念なき純潔心が、かく他の推重するところとなりしに外ならざるなり。

松丸直吉君

千葉郡幕張町天戸

夙に農事の改善に志し、明治十八年本縣奈良專治氏の選種したる稻種を購入して之れが試作をなしたるに、其品質收量共に佳良なりければ、各部落の作人に其種子を分與して栽培を獎勵し、現今に至りても奈良晚稻と稱し一般に耕作せらる。明治三十二年農事講習所を開設するに當り、講習生を勸誘し、氏自身も其講習を受

け、學理實地の二つを以て、斯業の改善に益々盡瘁するところあり、全年五月稻作試験地を置き、稻作の種類及び肥料の配合、株数の試作等を爲し、又米麥鹽水選麥の黒穗豫防法の如き、實地に指導して其模範を示し、其他苗代、正條植、害蟲驅除豫防等に最も力を致す。全三十三年には、磷酸肥料の共同購入を爲し、農家の副業として、蘭草の栽培を爲し、模範推積肥料舎を建築し、肥料の製造法を一般農家に知らしめし、等其功績洵に顯著にして、其事に當りて熱誠勤勉なる、宜ろしく以て他の模範たるべきなり。明治三十九年大日本農會より賞状を授與せられ、其他有功章、感謝状等を受け、其功勞を表彰せられたる事甚だ多し。亦各地品評會等に自家農産物を出品して特別賞、一等賞等を受けたる事、實に枚舉に遑あらざるなり。

石毛丑太郎君

海上郡嚶鳴村琴田

夙に農事に關し講究すること深く、明治三十七年郡農會の指命を受け、嚶鳴村米麥改良獎勵及害蟲驅除豫防委員を囑託せられ、推積肥料舎の建設、實業會の組織、害蟲驅除の勵行、米麥作の改善等農事一般に盡くしたる功績洵に偉大なり。昆蟲調

査を爲し、害蟲の標本を師範學校其他へ寄贈し、明治四十年縣農會教師に就き、牛馬耕術の修業をなし、率先之れを獎勵し、以て農事改善の實を擧げん事に極力盡瘁せり。明治卅七年千葉縣農友會より有功章の贈與を受け、其他謝狀、金圓等の贈與を受けたる事多く、又各種品評會へ出品して賞を受けたる事甚だ多し。

齋藤清平君

匝瑳郡南條村母子

夙に東都に遊學し、其學殖を以て、明治三十四年區農會會長となり、全三十五年稻作改良勵行組合長となり、害蟲驅除豫防稻田採種試作肥料改良、米麥種子交換水田排水獎勵等に盡瘁し、其功績洵に顯著なるものあり。其他各種の公職に従ひて、能く其職責を盡くし、以て他の畏敬するところとなる。明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より對時局農事獎勵事項實施の功績により、名譽賞状を賜はり。目下南條村青年團顧問、大日本産業組合千葉支會評議員、有限責任南條村購買組合理事組合長等の職にありて、孜々として其職に勉勵しつゝあり。氏や齡未だ壯年尙ほ多くの事業の氏の手によりて成功せらるべきや、期して待つべきなり。

村越 善左衛門君

市原郡戸田村馬立

明治廿貳年より農事に従事し、全廿七年より全卅一年に至る五ヶ年間、米麥作改良の目的を以て、試作地を設置し、其成績并に採取種子を自ら郡内有志者に頒付し、以て其範を示し、全廿八年一月市原郡戸田村有志農談會を組織し、推されて之れが會長となり、全卅年四月稻作改良法并に除草器普及の爲め、鳥取縣中井太一郎氏の懇囑に依り、全氏考案の改良稻作法并に太一車使用等を地方に紹介せり。全卅三年二月戸田村農事會長となり、全年六月綠肥栽培を獎勵せんが爲め、紫雲英栽培法調査の爲め、岐阜縣へ出張し、該栽培法を地方有志者に獎勵し、次て爾後毎年該種子共同購入の斡旋を爲す、全卅四年十二月農家副業獎勵の爲め、蘭草栽培、全製莖業を開始し、翌年十月花莖傳習所を開設す。全卅七年五月市原郡農會より稻作改良、害虫驅除豫防委員并に稻作共進會審査委員を囑託せられ、全年九月千葉縣農友會贊助會員に推選せられ、次て全會より有功章を授與せらる。全卅八年千葉縣農會より二毛作試験委員を囑託せられ、全四十年には全會より水田排水獎勵委員を囑託せらる。以上列舉せるの外各種農事に盡瘁せる事甚だ多く、其功績洵に偉大なり

とす、故に明治四十年十二月大日本農會より名譽賞狀を授與せられ、其他市原郡農會より精農者として表彰せられたる事あり、眞に農家の模範たるべし。

奈良縣



片岡 一 郎 君



柳 京 松 君



加 藤 喜 市 君



米 田 政 吉 君



吉 村 信 一 君



伊 村 太 郎 君

奈良縣

柳 京 松 君

添上郡辰市村大字西九條

氏の農事の改善に盡くせる功勞の多き内、苗代の不完全にして年々移植後發育を害せられ、收穫の増加に大に防げあるを概して、明治三十五年以來共同苗代とせしに、其成績佳良にして、漸次他を勧誘するに至りしは、其著るしきものとす。又肥料共同購入耕作道の新設、産米の改良、溜池の新設、綠肥栽培、短冊形苗代の獎勵、其他勤儉貯蓄、農村風紀の改善等、一般農事及び公共事業に盡瘁せるの功績實に尠しとせず。大日本農會及び郡農會等より表彰を受けし事あり、以て其功勞の一斑を知るべし。

奈良縣



島田辨之吉君



牧浦小重郎君



戸尾善右衛門君



中井太一郎君



石堂宇一郎君

米田政吉君

礪城郡安倍村大字橋本

明治十九年以來各種の公職に就きて幹旋盡力至らざるなく、全卅一年礪城郡肥料共同購入委員となり、其他農産物品評會審査員、農具改良調査員、奈良縣農會代表者となりし等、實に其數多くして收擧に遑あらず、其農事百般の事に盡瘁せる功績實に大なり。仍て明治四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を賜はりしを始めとし、各種の賞狀感謝狀を得たる事實に多し、以て其功勞の如何に多大なるかを知るべし。

中村伊太郎君

宇陀郡宇賀志村大字稻戸

氏は資性温厚篤實にして公共事業に熱心盡力すること多く、殊に農事の改良に勤業の獎勵に付ては地方の模範たり。明治廿二年宇賀志村助役となりし以來、村長視察員其他の公職に従事し、勤儉勸農の途を講じ、産米の改良、農村風紀の改善等一般農事の改進に盡力し、其功績偉大なるの故を以て明治四十年十二月大日本農

會より名譽賞狀を賜はりて表彰せられ、其外各所より賞狀等を贈與せられたる事甚だ多し。之れ皆氏の徳の致すところなり。

片岡彦一郎君

吉野郡上龍門村大字田原

氏は嘉永四年より種々の公職に従事し、明治十七年に至て退隱長男彦左衛門氏へ家名を譲れり。此の永き年間氏の盡くせる功績は實に尠なからず、明治四十年十月に至り、農事改良の功績者顯著なりしの故を以て縣農會長より賞狀を授與せられしにても知るべし。

勤七等加藤喜市君

宇智郡牧野村大字木ノ原

明治二十九年牧野村助役に當選以來、村會議員、名譽村長、村農會長、宇智郡農會代表者等の公職に就きて一意専心農村の爲めに盡瘁す。其間教育獎勵の爲めに金圓を小學校に寄附し、品評會を開催し、明治三十七八年時局に際しては大に盡力す

る所あり、爲めに勳七等青色桐葉章を下賜せられたり。其篤行賞すべきなり。

吉村 信一君

南葛城郡吐田郷村

家世々農を以て業とし、農事改良、農業教育の奨励、農村風紀の改善に盡瘁し、其功績洵に顯著なるものあるなり。衆に率先して紫雲英栽培の有利なるを奨励し、明治四十年に改良堆肥舎を建設し、肥料及農業必需品の共同購入をなさしめ、稻田害虫驅除を勵行し、宮戸報徳蓄積會又は宮戸報徳青年會等を組織して勤儉力行を奨励し、青年子女の風紀改善に努め、農談會を開催し、農家の智識増進に努むる等、農村の爲めに盡くせるの功績偉大にして、明治四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下の表彰するところとなりたり。

牧浦 小重郎君

北葛城郡上牧村大字上牧

明治廿二年上牧村々長に就職せし以外、從來多くの公職に従事して盡瘁せるの

功績渺ならず。明治三十七年以來共同肥料購買を以て一般の需要を充たし、殊に小作人には無利子貸付けを爲し、大に農民に裨益を與へ、害虫驅除豫防、小作人奨励等、農村の爲めに盡くせるの功績洵に偉大なり。

島田 辨之吉君

高市郡飛鳥村大字雷

資性温厚、着實にして、義氣に富み、夙に農村の頹廢を憂ひ、大字雷勤儉貯蓄規約を設けて、勤儉の美風養成に努め、夜學會を起して、青年子弟の風紀改善を奨励し、田畑の耕耘、綠肥栽培、米國種煙草の試培、稻共同苗代の設置、改良堆肥舎の新設、改良堆肥の普及、産米改良等、苟も有利と認めたる事業は、銳意遂行するを常とし、又老軀を厭はず、農事講習所に入り、農學を修め、本郡老農として、其名大に知らる。又近來林業に腐心しつゝあり、實に氏の如きは、罕に見る篤農の士と謂ふべし。明治四十一年大日本農會より賞狀を贈與せられ、全年奈良縣農會よりも賞狀及木杯等を授與せられたり。

戸尾善右衛門

生駒郡都 村大字佐紀

質性温厚にして家世々農を以て業とし、縣下多額納税者の一人にして、年少時代より専心農事に努め、今や衆望を擔ふて村長の榮職にあり。小作人の慰撫獎勵には最も力を用ひ、貧農には飯米を貸與し、又肥料を購入し之れを貸與して農家の發展に努め、耕作優秀なるものには賞を與へ、産米の改良、害蟲驅除、種子の交換等農家の改良進歩に力を致したる事實に一再にして止まらず、爲めに明治四十二年奈良縣農會より賞狀を授與せられ、其功績を表彰せられたり。



宇佐美祐次君



辻喜代藏君



大橋誠一君



黒瀬修二君



結城十助君

三重縣

二三

三 重 縣

宇佐美祐次君

三重郡菰野村

資性温順謙讓にして身富豪の地位にあるも敢て奢侈に流るゝの風なく質素を旨とし自ら鋤鋤を取り現に三重郡農會副會長の職にあり。農事の改善發達に意を注ぐこと最も深く殊に自家小作人を愛撫し良好なる種苗を他に需め之れを配布し又は仔牛を購入して之れを他に貸與し畜産の改良繁殖に盡し牧草の栽培を奨勵し亦各地の農事を視察し其の採るべきを自村に應用する等氏の貢獻によりて農事諸般の改良進歩見るべきもの眞に尠からざるなり。

辻喜代藏君

度會郡二見町

氏は今や老年に及びたるも手に鋤鋤を捨てず農事に盡すを以て至樂とす。氏

三 重 縣



君 郎 次 辰 津 木



君 郎 十 宗 井 龜



君 次 南 本 榎



君 丞 之 健 井 大



君 助 之 松 岡 岡

二 四

の今日に至る數十年の長き農事に盡くせるの功績は甚だ大にして枚舉に遑あらざるも、明治廿四年其功績によりて綠綬褒賞を賜はり、同卅二年大日本農會より有功章を授與せられしにても其一斑を知るべし。各地の共進會品評會等の農産物審査員を囑托せられし事數十回、博覽會其他にて褒狀を得たる事實に三十二通に及べり、眞に氏の農事に盡くせるの功績は多大なりと謂ふべし。

大橋 誠 一 君

桑名郡伊曾島村

氏は人となり至孝にして敬神の心厚く農事の改善には率先盡瘁す、居村北部の水田百六拾餘町歩が年々歳々潜水の害を蒙り、殆んど秋收なく、農民爲に大に苦しめるを見て其救済を志し、明治卅二年百方盡力の結果排水工事に着手するに至り、全卅五年完成し、爲めに爾來相當の秋收を見るに至りたり、之れ氏の最も苦心せる事業なり。又農家の副業を獎勵し、七島蘭及蘭草の栽培を獎勵し、農會其他各種の公務に盡力し、明治三十八年には桑名郡會議長に擧げらるゝ等、實に其功績顯著にして他の模範たるに足るべきなり。

黒 瀬 修 二 君

一志郡鶴村大字笠松

明治三十四年鶴村々長の職に就き、同時に同村農會長に擧げられ、爾來地方風紀の改善、農事の改良に盡くしたるの功績甚だ大なり。即ち農談會を開きて農民の智識を啓發し、爲めに同村に於ける米麥種子の鹽水選、短冊形苗代、害虫の驅除、豫防等の成績甚だ佳良なるに至れり。其他共同苗代、共同撰種の必要を説きて之れを實行せしめ、又自ら率先して堆肥舎を設け、其模範を示し、果樹栽培の利益あるを認めて其栽培を獎勵し、養蠶養鶏を獎勵し、共同購買の必要を唱導する等、農家の福利増進を圖りたる功勞實に尠ならず、其事に當るや尤も熱心至誠實に得難き人物と謂ふべきなり。

結 城 十 助 君

志摩郡磯部村大字下之郷

氏は壯年時代より各種の公職に従事し、百方畫策するところあり、而して其農事に盡くせるの功績は最も大なり、即ち公有林野の整理、耕地整理及び土地改良等に

百難を排して其成功を期し、農家の副業としては養蠶を奨励して桑園の改良増殖を行ふ等、凡そ農事百般の内、利あるを見ては必ず之れを實行して其利を享有する事に努め、其事に當るや少しも私利私慾を思はず、一つに農村の福利増進に心掛け、身老年に及ぶも些も懈怠の色なし、實に氏の如きは罕に見る至誠の士と云ふべし。明治三十九年日露時局の當時盡瘁せし功勞によりて勳八等瑞寶章を賜はりたり。

龜井宗十郎君

飯南郡松尾村大字藤之木

氏は公職に盡くすこと三十有餘年間一日の如く、常に村治の發展に意を注ぎ、畫策經營見るべきもの尠ならず、今日松尾村が郡内の模範村たるは實に氏の盡力與つて力あるなり。最も勲業に意を傾注し、自ら果樹蔬菜を試作し良好なるものは之れを村民に配分し、選種苗代の整理、正條植害蟲驅除豫防、米穀の乾燥俵裝等は自ら實地に臨んで指道奨励し、毎年農事蠶業等の講習會を開催し農家の智識啓發に資し、明治三十八年新に購買組合を設けて肥料農具日用品の共同購買をなし、村内瘠地の利用を圖りて之れを開墾し、桃、柑橘の類を栽培せしむる等其功績甚だ大

にして枚舉に遑あらず、明治卅九年四月勳七等青色桐葉章を賜はり、全卅九年には大日本農會總裁宮殿下より表彰せられたり。其他表彰を受けし事甚だ多し、以て如何に氏の農事に盡くせる功績の多大なるかを知るべきなり。

木津慶次郎君

阿山郡玉瀧村大字玉瀧

氏は明治廿一年玉瀧村外二ヶ村戸長役場筆生となりし以來各種の公職に従事し、共進會、品評會等の審査員を囑托せられし事も多く、農事其他諸般の改善に盡くされたるの功績洵に大なり。明治三十九年四月日露戰役後當時の功勞により勳七等青色桐葉章を賜はりしを始とし、各種の表彰賞與金を受けたる事甚だ多し。現に株式會社玉瀧銀行の頭取、大日本農會特別通信員其他の公職にあり、銳意地方の爲めに畫策其發展に資す、洵に得難きの士と謂ふべきなり。

榎本南夫君

南牟婁郡神志山村大字金山

明治卅九年神志山村々長に就職せるを始めとし郡會議員農會代表者全副會長品評會審査員其他の公職に従事して大に畫策する所あり其功績の大なるは明治卅九年大日本農會總裁宮殿下より農事改良の獎勵成績顯著なるの故を以て賞狀を受け翌年十月三重縣農會より彰功狀及び賞與品を授與せられしにても知るべきなり。

岡田松之助君

員辨郡治田村大字新町

氏は少時より農事に心を傾け種々講究するところあり郡内の米作を改良し鹽水選の獎勵其他肥料に石灰濫用の弊害を矯正し自ら其生産品を各品評會共進會等に出品して賞を受け以て他に其模範を示し各種公職に就きては其職分を遂行し名和昆蟲研究所に入りて昆蟲に對する智識を涵養し以て郡内有志者に害虫驅除豫防の一日も忽にすべからざるを知らしめ農家副業として琉球蘭の栽培を獎

大井儼之丞君

河藝郡稻生村大字稻生

勵し其他品評會共進會等の審査員となる等一意専心農家の誘導にこれ努め一日も怠る事なく以て今日に至る。其功績の大なる故を以て明治四十一年勳八等白色桐葉草を下賜せられ翌年四月大日本農會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はる。右の外他より表彰を受けたる事洵に多し實に他の龜鑑たるべきなり。

明治廿四年五月以來稻生村々長及び同三十年同村農會長として今日に至る。其長き年間一意専心同村農事の改善發達に努む。明治卅七年には害虫驅除豫防規定を設けて其獎勵に努め地主會及び小作會を設置して兩者の關係を密ならしめ肥料及び種苗の共同購入をなし堆積肥料を獎勵し共同選種及種苗代仕立改良苦鹽選種試驗田設置其他農事の改良に力を盡くしたる事實に枚舉に遑あらず其功績洵に偉大なりとす。明治三十九年其功勞によりて大日本農會より賞狀を受け同年三重縣農會よりも彰功品の授與を受けたり。

愛知縣



齊藤久之丞君



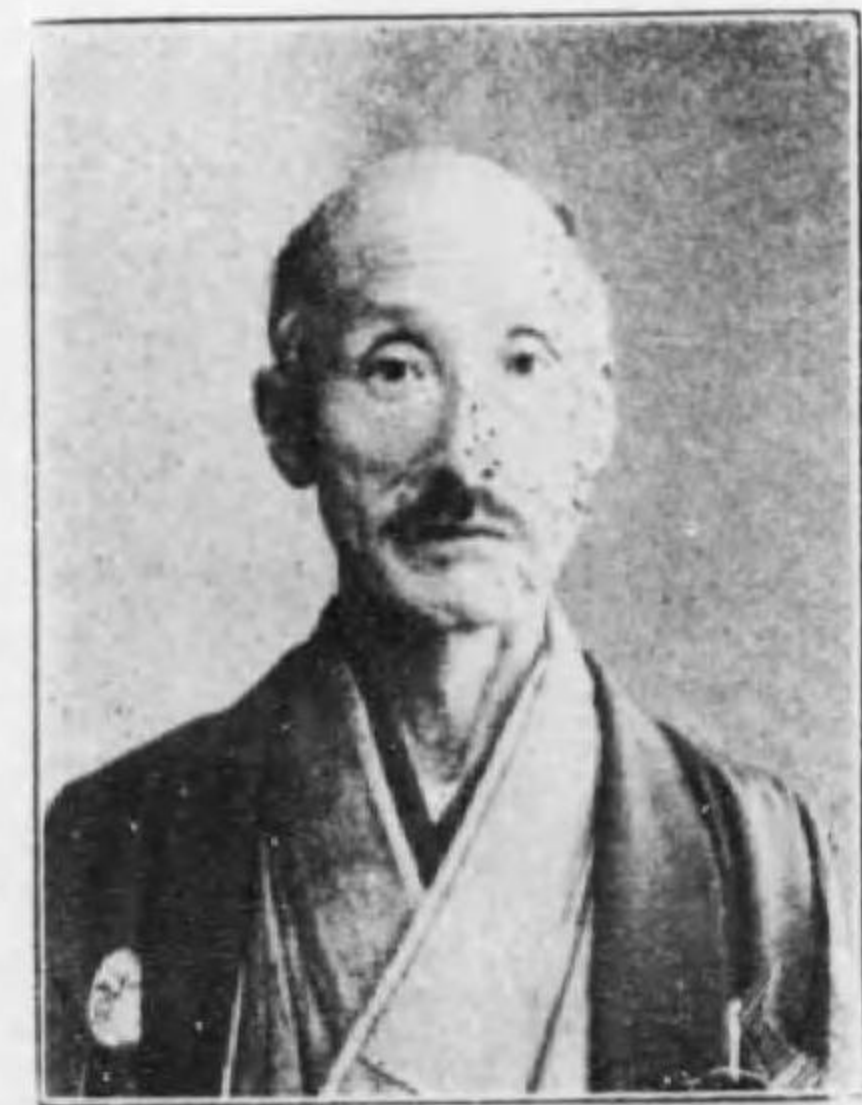
中村義上君



鶴田勝藏君



青樹英二君



鯨部與三郎君



村榮喜知君

愛知縣

中村義上君

渥美郡田原町

明治二十六年十月三遠農學社渥美郡社員總代として林又助氏と共に私立農會を設立す、後改めて三遠農學社東三支社と稱し、終始副會長として農事の改良に盡瘁し其功績顯著なり。明治二十八年以來渥美郡農會副會長を勤むる事前後六年、明治三十四年田原町農會設立に當り農會長に當選し今日に至れり。其他町村農會議員となり、品評會審査委員となり、戰時農事獎勵員となり、各所に出張して講話を爲し、道の遠近風雨を厭はず、或は其所見を印刷して有志者に無代配付し、農事改良に風紀改善に盡瘁せるところ眞に妙なからざるなり。

夙に農事改良に志し、村農會設立以來、其會長に選ばれ大いに斯業の發達を圖り私財を投じて農事の改良に資し、當業者を獎勵して怠らず、爲めに村民奮勵して改良の實を擧げ、其進歩他に卓絶たり。又勤儉貯蓄を獎勵し、養老會を設け、古老を尊敬し、購買組合を設立して肥料及日用品を廉價に供給し、以て農村の改善に之れ努められたり。

安井 甚右衛門君

海東郡豊治村

古橋源六郎君

北設樂郡稻橋村

由來稻橋村は神社を以て村民和協の中心とす。氏は同村の主宰者として戸籍の變動より民力の消長等大小洩らさず必ず神前に奉告し、村民又よく和合一致す常に農村振興策を講じ、國事に奔走して席温まるの暇なし、而して一難に遇ふ毎に勇氣百倍事に當りて屈せず其功績世に傳ふべきもの洵に尠しとせざるなり。

青 樹 英 二 君

海西郡市江村

夙に心を農事に傾注し力を公益に盡す。地方の田區狹少錯雜にして耕耘に便ならざるを慨し、卒先之れが整理を斷行して他を示導し、又宮田用水路の完からざるを憂ひ拮据經營之れを改修して、灌漑の利を沿道の各郡に享けしめ、或は孫實組一千八百餘町歩の排水事業を翼け、又村治に盡瘁する等其功勞洵に顯著なるものあるなり。

野 村 榮 喜 知 君

額田郡藤川村

夙に心を農事改良に注ぎ、治二十三年自ら卒先して額田農會組織の爲めに東西に奔走し、全二十七年耕地の整理を企て、各所に其の整理の利なるを説き勸誘甚だ努む、人皆其特志に感ぜざるなし。爾來農村改善に腐心する事多年一日の如く、其功績洵に顯著なるものあり、以て他の龜鑑たるべし。

齋藤久之亟君

幡豆郡横須賀村

資性率直能く艱難を排し、必ず其目的とするところのものを貫徹せざれば止まざるの氣概あり。常に質素に身を持し、人に對するや甚だ懇切夙に農事に意を傾け視察研究怠ることなし、即ち米麥作の改良、推肥の普及、園藝業の奨励、藍作栽培法の改善、牛馬耕の奨励、悪水路の改修等、孜々として經營せるの結果、其功績顯著にして後世に傳ふべきもの甚だ多し。

渡邊平内治君

寶飯郡下地町

夙に心を農事に傾け、先進者として郷黨の推すところとなり、切に牛耕の利あるを説きて之れを奨励し、其普及を圖り、或は遠近を巡歴して農事の改善を指導し、或は果樹の栽培を奨め、藍玉の改良を計り、且つ縣郡農會の事務に幹旋し、勵精多年、斯業の發達に盡瘁し、其功勞洵に尠なからざるものあるなり。

鶴田勝藏君

碧海郡六ツ美村

壯年より心を農事の改善に傾け、刻苦經營百難を排して安藤川の改修を竣成し、沿岸の町村九百有餘町歩の濕田に排水の利を得せしめ、收穫昔日に倍するに至る。又耕地整理の有益なるを悟り、卒先唱導之れが實施を企畫し、勵精多年、農耕の振作を翼け、公益の増大を計りし事、尠ならず、尙ほ今後益々斯業の爲めに盡瘁するの勇あり、洵に偉なりと謂ふべし。

鰐部與三郎君

知多郡八幡村

夙に心を興農に注ぎ力を公益に盡すを以て快事となす、地方産米の粗悪なるを慨し、多年之が研究に努め、米質の改善を期し、共同販賣の法を設けて金融を便にし、佐布里米の聲價を發揚し、又購買販賣組合を創立して、賣買上裨益するところ多き等、農事の爲めに竭せる功勞洵に多大なり。

靜
岡
縣



君 郎 十 喜 井 平



君 吉 源 崎 山



君 藏 芳 塚 大



君 郎 三 甚 藤 伊

二
七

靜岡縣

金指喜作君

富士郡加島村本市場

氏は農事に心厚く、熱心盡瘁する所あり、現に村農會評議員及幹事の職にあり、尙本村農事監督として、努めて其改良發達を圖り、村農會の活動をして全からしむ。明治三十四年本郡農事改良委員となり、又試験場監理を囑託せられ、全三十八年には農事督勵委員となり、一般農業者に對し指導誘掖至らざるなく、其功績洵に多大なりとす。全四十年靜岡縣農會より、稻原種栽培を委託せられ、爾來三年間須賀一種の管理を擔當し、良種普及の功尠からず、其賞として賞狀及木杯を授與せられ、全四十一年には農事改良獎勵の功績偉大なるの故を以て、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

山崎源吉君

小笠郡垂木村下垂木

夙に農事に盡瘁し、其始めに於て、農事巡回教師として各地を講演し、地方農家に裨益を與ふる事尠らず、明治卅六年三月静岡縣安倍郡農事監督及全郡農會幹事に選任せられ、又全郡農事會幹事を囑託せらる、其間農事講習會講師及各種の品評會共進會等の審査長審査員等に囑託せられたる事實に十數回の多きに及び。其農事に盡くせるの功勞偉大なるの故を以て、賞狀賞盃等を授與せられたる事甚だ多く、其重なるものを擧ぐれば、明治二十七八九年自作稻田成績良好の廉を以て、時の郡長及米穀改良組合より、賞狀賞品を贈與せられ、全三十二年十二月静岡縣農業十大家の選に當り、其他郡農會より賞狀銀盃等を贈與され、明治四十一年には大日本農會より農事改良獎勵上の功績に依り、名譽賞狀を授與せられたり。

曾根茂作君

榛原郡吉田村

資性温良、着實専ら農事に勤精し、明治廿八年村農會設立以來評議員となり、又各

種品評會の審査員となりたる事數回、常に農事改良に志厚く、老農大家の説を聽き、啓發する所多く、専心改良の實を擧げ、農具の改良各種の試験を行ひ、又自ら考案して、便利なる農具を製出せるもあり、以て農家に裨益を與へたるもの甚だ多く、本縣各系統農會に於て米麥作の共進會設立せらるゝや、農産品を出品して一等賞を受け、其他各種の品評會等にて受賞せる事數回、後馬耕傳習會、榛原種栽培其他郡村農會の事業を助け、農業改良上貢献したる所尠ならず、現今郡農會農藝委員として斯界に盡瘁しつゝあり。明治四十年農事改良獎勵の功績大なるの故を以て、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

伊藤甚三郎君

磐田郡長野村

明治廿八年本縣に牛馬耕普及を圖らんが爲め、熊本縣より馬耕教師を聘備するや、自ら率先村内青年を勸誘し、傳習會を開き、教師を自宅に宿泊せしめ、傳習する事一ヶ月、該業修得證を得たり。全廿二年藍作改良を圖らんとし、徳島縣より教師を聘し、衆に率先自ら生徒となり、大いに藍作改良發達を圖り、以て地方を利せしめた

る事多く、全廿八年以來縣郡村農會より、共進會品評會等の審査委員の囑託を受くる事三拾回余、又共進會品評會等にて米、麥、藍、蕒、菜種其他を出品して賞與を受くる事數十回の多きに及び。村郡農會の幹事となるや、地方蠶業の不振を憂ひ、良師を聘して講習會を開き、青年を勸誘して聴講せしめ、大いに村内蠶業の改良發達を圖れり。明治四十年遠江國報徳社より特別功勞銀製記章を贈與せられ、全四十一年農事改良獎勵の功績により、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

平井喜十郎君

駿東郡清水村

夙に篤農家の譽高く、農事の改良發達に力を盡し、村長並に村農會長の職に就くに及びては、特に農村風紀の改善に力を用ひ、農業館なるものを設けて毎月例會を開き、農民智識の涵養に資し、又青年會を組織し、青年の氣風向上に努むると共に、亦産業の勃興に力めたり。明治四十一年全村一部落に耕地整理をなさん事を其筋に出願し、其許可を得て之れが遂行をなし、全年又稚蠶共同飼育場を設置し、大に利益を計り、爲めに全村は一の模範村として推稱さるゝに至れり。往年郡農會評議

員に擧げらるゝや、十有餘年の久しき能く會長を補佐し、其事業を助けたり。其功績洵に顯著なるの故を以て、明治四十二年大日本農會の名譽賞狀を授與され、表彰するところとなりたり。

増田源作君

安倍郡大谷村

資性温厚慧敏、能く世俗に通曉し、時勢に先じて劃策指導、常に郷人の等しく欣慕する所たり。明治八年駿河國西報徳社の認可を得て、大谷村片山報徳社を設立し、當時の風紀宜しからざるものありしを以て、自ら自踐躬行村民をして着實勤勉の氣風を養成せしめ、又青年子弟の爲め夜學校を開始し、十數年の久しき農民智識の啓發に努め、安部郡大谷久能組合村長及び安部郡農會會長等の職に就くや、地方農事の改善に盡瘁し、又明治三十九年安部郡茶業組合長に當選するや、茶業研究所設立の急務なるを認め、日夜奔走遂に東部研究所の設立を見るに至り、斯業の改良進歩を促進せる事甚だ多し。其他公共事業に盡瘁せるの功績實に枚舉に遑あらず、明治三十九年其功により、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

大塚芳藏君

志太郡大洲村忠兵衛

氏は現に大洲村農會會長全副代表者として農事に力を盡し、傍ら數年來甘藷栽培法を研究し、其有利なるを見て、専ら其獎勵に努め、近來同村に於ける甘藷の栽培著しき進歩を見るに至れり。志太郡農事獎勵委員、共同苗代品評會審査員等を囑託せらるゝや、害蟲驅除豫防其他農事改良に就き、他委員と共に受持區町村を巡回指導し、又現今肥料の需用増加するに伴ひ其價格騰貴せるを以て、推肥製造の普及を圖らんか爲め、率先之れを獎勵しつゝあり。而して斯の如く農事に盡瘁するの傍ら、村民の風紀改善に努め、勤儉貯蓄の美風養成を獎め、其成績大に見るべきものあり。又各種共進會、品評會等に自家農産品を出品して、受賞せる事十數回、且其審査員となりし事頗る多し。明治四十年農事改良の功績を表彰され、大日本農會の名譽賞狀を受領せり。

高部末廣君

濱名郡神久呂村

氏は少時より農業に従事し、其初に於ては極めて少額の資本を以て、銳意勵精時之れ金の格言を確守し、堅忍不拔節儉を努め、漸く家道の興るに至るや、専ら居村の進歩發達を計るを旨とし、明治十四年勸業談話會を起し、翌十五年共救社を創設し、又共育社を創立して、大に社員を指導誘掖し、村民救済の法を講ず、全十九年授産の目的を以て、末廣勸工所を設け、染工、製藍、織物の三科を置き、村内の子弟を集めて之れに業を授けたりしかども、全三十二年閉所せり。明治二十一年居村の田畝規模極めて少にして、畦畔少く耕地灌漑の不便甚しきを慨し、地押測量を利用し、畦畔の改良を發起し、全三十三年には田七十四町歩以上の耕地整理を成效するに至れり。明治四十年農事改良獎勵上の功績により、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

土屋梅之助君

加茂郡稻梓村落合

明治三十五年四月村長の職に就くや、村治の改善は勿論、苟も一村の公益となるべき事業に對しては、百方他を勸誘して之れが實行を促し、勤儉貯蓄の美風を養成し、青年には實業教育の普及を鼓吹し、農村經濟の經營上産業組合設立の必要を認め、全三十六年十月村内の有志に計り先づ購買販賣組合を設くる事とし、東奔西走大に之れに加入の勸誘に努め、種々困難の結果、今や全村殆んど其の組合員となり頗る好結果を現すに至れり。又金融機關として信用組合の必要を感じ、全四十一年五月之れが設立をなし、日尙ほ淺きに不拘、日に月に好況を呈するに至れり。明治四十年農事改良獎勵上の功蹟により、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

田邊三郎平君

周智郡三倉村

夙に報徳の道を奉じ、自村及近村に於て結社せしむるもの五、何れも其役員とな

り又遠江報徳社の幹事たり。日露戰役の開始せらるゝや、村内青年を集め、三勤會なる團體を起し、勤儉讓の三點を勤むるを以て目的とし、貯金の如き現に千餘圓を得、其の他村農會長、郡農會の役員として大に農事改良に努めつゝあり。明治三十九年農事改良上功蹟顯著なるの故を以て、大日本農會より名譽賞狀を授與せられたり。

鈴木恒太郎君

田方郡三島町

幼より父に隨ひ農業に従事し、一意専心斯業の改良に努む、現今水田貳町五反餘、畑一町五反歩餘を耕作しつゝあり。三島町農會の農事監督囑託を受け、公共的指導の任を盡せり、其事に當るや熱誠盡瘁、世人の信用極めて深厚なり。明治廿五年三島町農會評議員に當選し、全三十一年農會より縣下各郡の農事視察員を命ぜられ、全四十年四月三島町農事監督を囑託せられ、公共事業に大に力を致せるの功没すべからざるものあり。其他各種共進會品評會等へ出品して賞を得たる事甚だ多

山梨縣



鈴木次郎君



生原龜太郎君



波邊堅吉君



野野甚兵衛門君

二九

し實に他の模範たるべきなり。

山 梨 縣

生原 龜太郎君

東山梨郡春日居村

資性恭謙にして志操堅實、平素節儉を守り、公共事業に對しては一身を忘れて盡瘁し、其実績見るべきもの甚だ多し。居村に農事研究会なるものを起し、自ら其會長となり、害虫驅除、米麥の品評、肥料の共同購入等を始めとし、鹽水選種、正條植共同苗代、堆積肥料等、苟も事の改良刷新を要するものあれば衆に卒先して之れを行ふ。又蠶業に勵精し、蠶病豫防法の發布以前に於て已に消毒法の必要を説き、私費を投じて消毒所を置き、普く他の依頼に應じ一般に裨益を與へたる事尠なからず。其他桑園の改良、教育の普及等、其功績の多大なる實に牧擧に違あらざるなり。明治卅九年九月大日本農會より綠白綬有功章を贈與せられたり。

山 梨 縣



君 郎 次 高 保 小



君 吉 常 田 依



君 藏 民 尾 若



君 郎 五 又 井 武

鷹野甚兵衛君

西山梨郡住吉村

資性謹直温厚にして夙に農事の改良發達に意を注ぎ、屢々他府縣を巡歴して農事一般の状態を視察し、斯業の模範誘掖を以て自ら任じ、試験場を設置して米麥種の良否肥料の得失、土壤の適否、耕作の方法等を研究し、其成績表及び良種を無代にて篤農家に配與して試作せしめ、又數十年前より氣候の觀測を爲して農作物の上に応用し、當業者の指導誘掖に努む。又各地に共進會品評會等の開設あるや常に審査長審査委員等となり、農事大會實業家大會等には郡縣の代表者として出席し、郡村農會の名譽會員、幹事代表者等に推舉せられ、農事改善上四十有餘年間一日の如く誠實に奮勵努力し、齡今や六十餘に達せるも些も懈怠の色なし、其功績洵に多大なりとす、故に明治卅九年九月大日本農會より綠白綬有功章を贈られ表彰せられたり。

鈴木勢次郎君

東八代郡金生村

明治卅一年岐阜市名和昆蟲研究所に於て農作物害蟲驅除に就て研究する所あり、爾後害蟲驅除の忽諾に付すべからざるを唱導し、捕蟲器を村農會に寄附し、其獎勵に資し、自ら近縣の農事を視察して若し良種を見出でし時は直ちに之れを購入して自ら試作し、其結果良好なれば之れを村民に配與して其普及を圖り、蠶業に付ては東八代東山梨兩郡の同志を謀りて蠶桑共進會を組織して改良を企て、地方蠶種製造家の振興を促し、桑園の改良を圖らんが爲めには毎年三遠地方より良苗數萬本を購入し、村内需用者に分與し、以て其改善を圖り、益々獎勵を怠らざる等功績甚だ大なり。明治四十二年一月大日本農會は其功勞に對し名譽賞狀を贈與し之れを表彰せり。

渡邊堅吉君

西八代郡市川大門町

氏は夙に農事の改良勤儉貯蓄の獎勵に盡瘁し、明治廿五年永親會と云ふを設け

て會員相互の交誼親睦及び産業發展の資に充つる目的を以て勤儉貯蓄を勵行し其結果非常に良好にして農家經濟を豊富ならしめたり。明治卅三年より大門町有造林の計畫作業に當りては之れが經營委員となり爾來今日に至る迄殖林事業に従事しつゝあり。其他共同苗代、耕地整理、桑園の改良、肥料の共同購入、各種品評會、共進會等の審査委員等氏の農界に盡くせるの功勞は實に多大にして之れが爲めに賞與を得し事も枚舉に遑あらざるなり。明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を下賜せられたり。

依田常吉君

南巨摩郡靜川村

夙に農事の改良に意を注ぎ、米作改良の爲め種子の交換試作を爲し、共同苗代を實行し、養蠶の改良を圖る爲め養蠶傳習所蠶業講和會等の開設に盡力し、明治卅年以來村長となり、村農會長となり或は村農會代表者となり、明治四十一年四月郡農會代表者に當選し、又郡及郡農會の施設に係る農産物品評會、苗代共進會等の審査員となり、農事及び養蠶の改良獎勵を圖りし効果實に尠なからず、其他産馬業に巨

資を投じ其改良に盡瘁し、熱心當業者を指導獎勵する等其の勤勉實に農家中罕に見るところなり。

鹽澤元太郎君

中巨摩郡落合村

資性質朴にして謹直事に當りて眞摯夫を遂げざれば止まざるの氣概あり。夙に農事の改良に力を注ぎ、齡末だ丁年ならざりし時代より各地を奔走し、其改良の急なるを説く、現時漸く盛ならんとする養蠶業亦氏の注目する所となり、去る廿五六年の頃奮然自費を以て近縣各地を巡視し、大に斯業の改良發達上得るところあり、次で教師を招聘して飼養法の研鑽、桑園桑樹の改良等致々營々些も怠るなし、其他果樹園約四五反歩、百合根の栽培年々六七反歩に及べり、尙倍々之れが増殖に腐心せらる實に氏の農事上に於ける功績は偉大なりと謂ふべし。

栗原信近君

北巨摩郡穴山村

明治九年同志と共に謀りて資本金五萬圓を以て農産社を創立し、機械、農事改良、貯蓄獎勵等の事業を爲し、全年又殖産社を設立して三椏の栽培を獎勵せり。全十年山梨縣第十國立銀行を開設し、自ら其頭取となりて大に地方の金融機關を助け、其後自ら鋤鋤を手にして普通農事の模範場を設けて公衆の參觀に供し、傍ら農家の副業として養雞、養蜂等を獎勵し、其他公共利益の爲めに幾多の公職に就きて其功績實に枚擧に遑あらず。明治三十七年十二月其功勞により藍綬褒章を賜はり表彰せられたり。

武井又五郎君

南都留郡三吉村

明治廿八年頃南都留郡三吉村の内法能部落に於て人情風俗亂れ、飲酒賭博等盛行はれ、困憊靡弊の極に陥りたれば氏は大に之れを慨し、同志と圖りて其挽回策として勤業組合を創立し、氏之れが監査役となりて大に貯金を獎勵し、一面には農

事の改良發展に努力し自ら鹽水選改良苗代、麥奴豫防等を實行し、其成績を他に示して誘掖指導し、人造肥料に付て其施用方法を研究して其改良を圖り、農作物種類の改良を講じ、農具の改善を計り、荒蕪の原野を開墾して桑園を拓き、害虫驅除を獎勵する等大に其の改善に盡す。其他共進會、品評會等の委員、審査員となりて公事の爲め盡くせるの功績は洵に多大なり。

小俣高次郎君

北都留郡巖村

氏は普通農事及養蠶に熱心にして私費を抛ち改良種苗を分與し、施肥の方法、養蠶の飼育等實地指導を爲し、又農會に關しては村農會代表者となり、現に評議員の職にありて諸般事業の發展に勉めたる功績著明なり。明治卅七年十月北都留郡農會第三回農事講習會に於て麥作法、選種法、肥料法、害虫驅除法、養蠶法等の講習を受けて之れを實地に應用し、全四十一年三月村農會長に當選す。全卅九年十一月大日本農會總裁宮殿下より其功績を表彰せられて名譽賞狀を賜はりたり。

若尾民造君

甲府市山田町

明治四十一年五月甲府農會長に就任して現職にあり、田畑四十有餘町歩を有し他郡町村にも又數十町歩の田畑を所有し、各種公共團體の要職に就き、市農會豫算の十分の一以上は氏一身を以て負擔し、時々自己所有地内の各小作人に對し私設農作物品評會等を開設し、農事の改善發達に貢獻するところ尠なからず。明治卅一年甲府市西山梨、中巨摩東山梨、東八代の一市四郡の樞要なる地方二十四ヶ所に模範稻作改良試作地を設置して當業者を實地に指導し、稻作上尤も必要なる事項を摘載せる書冊を發行して當業者に配與し、小作地の施肥を勵行し、小作人を獎勵し、各郡に品評會を開催する等農事の改良進歩に致せるの功勞實に尠しとせず。其功績顯著なりとして明治三十九年四月大日本農會總裁宮殿下より賞狀を賜はりたり。

288282



中井詩兵衛君



井口吉宗君



岡治三郎君



中井詩吉君



西村良右衛門君



藤野嘉平君

滋賀縣

三一



北川嘉藏君



久保彌重君



中村牛治君



松井常太郎君



赤崎太郎君



淺野伊三君

滋賀縣

勳七等 藤田清兵衛君

滋賀郡伊香立村大字途中

滋 賀 縣 (101)

多年區長、村長、郡會議員、町村農會長、其他の公職に歷任し、現今は縣農會代表者にして評議員たり。夙に農事の改良に付て多大の注意を拂ひ、共同苗代の如き遺憾なき迄に之を獎勵實行せしめたり。養蠶は此地未だ幼稚なりしを以て専ら之れが獎勵に努め、其方法としては模範桑園を作り、之れが手入栽培の方法を示し、蠶種の共同購入、産繭の共同販賣等には極力斡旋して怠らず、其効果大に見るべきものあり。猶ほ畜産の改良に留意し、伊香立村の一部に産牛組合を設けしめ、縣農會より種牡牛を借受け、専ら仔牛の蕃殖を圖りたるを以て、組合創業以來日尙ほ淺きに今や數十頭の仔牛を産するに至れり。又推肥の獎勵に努め、推積場を設置したるものには獎勵金を交付するの制を設けたるより、明治三十八年の如きは一時三百八十餘ヶ所の堆積を見るに至れり。

其他地主と小作との關係を圓滿ならしめ、勤儉貯蓄を奨励して肥料購入、農具買入等の費となさしめたる等、其の功績擧げて數ふべからざるなり。

井 口 吉 宗 君

栗太郡志津村大字部田

氏は資性篤實夙に興農の志を有し、多年村農會長として諸種の改良事業を施設し、又現に栗太郡農會副會長として銳意斯業の振作を圖り、拮据黽勉陰に陽に農會長を補佐して施設經營に怠ることなく、爲めに郡農會の基礎益々鞏固となり事業亦愈々發展するに至る。特に共同苗代、害蟲驅除等を督勵して之を實行せしめ養蠶、養鶏及果樹栽培等自ら之を經營して實地に之れを示し、一方種苗種卵等を配付して其種類を改良し、廣く他地方を視察調査し、斯業の改良に資する等、氏が多年間農業界に盡力し、裨益を與へたるの効果、尠なからざるは一般の認識する所にして其功績洵に顯著なるものなり。

猪 飼 治 三 郎 君

野洲郡小津村大字山賀

氏は明治三十八年以來農會長として本村の爲めに盡し、今尙其職にあり。稻種鹽水選、害蟲驅除、共同稻苗代等皆他町村に率先實行せしめ、其他各種の品評會を開きて農民を鼓舞し、農事講習會を開設して農業教育を青年に授くる等、各種の施設を爲し、熱誠之れが奨励に努むるを以て年一年良好なる成績を擧げ、明治四十年農事改良の奨励及實行の成績顯著なるを以て大日本農會より表彰せられ、又明治四十年全四十年本縣共同稻苗代品評會に於て一等の成績を得、尙明治四十年小學校基本財産蓄積農產品評會は戰時紀念として成績優良なるに依り、本縣普通教育奨励規程に依り奨励金を交付せられたり、是村民淳朴にして能く之れに賛同し、實行せる結果なるべしと雖も、全く現會長が熱誠なる施設と周到なる指導あるにあらずんば、決して如此なるを得ざりしなり。

勳七等 中 井 清 吉 君

甲賀郡伴谷村大字伴中山

家世々農を以て業とす、資性温厚堅忍にして自ら衆望あり、明治二十四年助役に擧げられ續て全二十九年村長となり、農會組織に際し農會長に推薦せられ任期満つるも再選して今日に及べり。氏は終始一貫農事の改良發達に力を盡し、其の全きを圖らんとするには之れに伴ふ機關を置き、團體の力を以て之れを行ふにあらざれば成功の期し難きを認め、明治二十六年農團協會を起し、自ら會長の任に當り、其の効果見るべきものありしも、明治二十九年村農會の組織を見ると同時に農團協會を廢せり。蓋し協會の事業たる農會の目的と均しくして二者並立を必要とせざるが爲めなり。

氏の獎勵によりて効果を奏せし事業多しと雖も、就中米種の改良、溜池の新設、農産物品評會、養蠶傳習所の開催、稚蠶共同飼育、田區改正、米穀共同販賣、肥料共同購入の如きは特に力を致せしところなり。其結果溜池新設十八箇所、田區改正并に灌漑水の便を得たるにより一毛作の二毛作に變せし段別四百餘町歩に達し、連年農産物品評會開設に依り、自然に米穀を改良し、且つ共同販賣方法の宜しきを得るを

以つて市場の信用を高め價格を昂進せしむるを得たるを始め、肥料の共同購入を計りて便宜を與ふる等、總て農家經濟に裨益すること少なからず。尙ほ他に養蠶業の如き二十六年頃にありては僅々二十五石を收穫せしに過ぎざりしが、現今にては年々約三百石の收穫を見るに至りたる等、氏の功勞與つて力あり。

西村 市良右衛門君

蒲生郡日野

氏の家世々商を以て業とし、埼玉縣に支店を有し、酒類醬油等の製造をなす。天資慧敏眞摯にして公益を圖るを以て能事とし、自己は其大綱を總攬し多く店員に委して與らず。明治十二年四月大窪町戸長に任ぜられし以來、大窪町々會議員、滋賀縣會議員、日野町農會頭、蒲生郡農會副會長、郡會議員等、其他の公職に就かれし事實に枚舉に遑あらず、其の衆望の歸する處知るべきなり、實に氏の半世は公利公益の爲めに東奔西馳、縱横企畫、今尙寧處に遑あらざるなり。

明治二十九年町村農會の設立に力を盡し、延て郡農會に及ぼし、設立已に成るや之れが効果を實現せんことを努め、害蟲驅除、共同苗代、其他諸般の改良事業に腐心

し、其實蹟歴々観るべきものあり、其他農民智識の啓發を圖り、郡農事講習會を開き、毎年二回講習を開催し、其の修得生を一團として組織せる農友會の會長として熱心事に當り、以て蒲生郡農業界に多大の功績を挙げたり。其他氏が既往に於て學校建築、官公舎の建築、貧民救恤、道路の改修等公共事業に資金を出して、地方長官の賞状、銀盃等を授けられたる事甚だ多く、其の功績實に顯著なるものとす。

本多嘉兵衛君

神崎郡御園村

家農を以て業とし、明治七年神崎郡戸長に任ぜし以來、縣會議員、神崎郡會議員、神崎郡農會幹事、御園村農會會長等其他公職に盡力せし事甚だ多し。各所に開催せる農産物品評會、共進會、博覽會等に出品して褒賞を受けたる事も甚だ多し。其農事上に盡せる事蹟に付ては、村内一般農家に栽培せる稻の種類甚だ雜多にして、種子の採種地は至極出來過の場所を違ひの風習あるを以て之れを矯正せしむる爲、去る二十年來一般耕地に就き採種に適するもののみを審査し、其優良なるものに目標を建て、一般當業者をして交換に便ならしむるの方法を設け、又各種の種子を交

換するの斡旋を爲せり。肥料の善惡及使用量等の如きもよく是れを研究し、一般當業者に目撃せしめ、或は其成績を報告する等當業者の利益を計れり。明治三十九年よりは肥料共同購入の方法を設け、極力之れを奨勵し、尙ほ其上に其購入資金を低利にて供給し、大いに農民の便を計れり。其他茶業の奨勵、蠶業の奨勵、葉煙草及び桑樹の栽培奨勵、農作物害虫驅除等に力を盡し、農民の利益に及ぼしたる効果實に數ふに遑あらざるなり。

藤野喜平君

愛知郡稻枝村大字稻里

資性剛毅、量寬宏、夙に心を公共事業に用ひ、銳意村の改善を圖り、其功績枚舉に遑あらず、就中農事の改良及び之れが實行に關しては専心意を留め、自ら斯界の木鐸となり、殆んど二十有餘年間一日の如く熱心其の發展に努力せり。由來同村は田區狭少にして、而も倭林四邊に鬱蒼し、爲めに年々尠からざる利益を減損し、又同村東北面に横斷せる宇曾川沿岸の土地は概ね荒廢に歸し、全く不毛の地なり、故に氏は大に如上の舊態を一新し、以て利益を向上せしめんことを期し、村民を激

勵して荒蕪地を一齊に開拓せしめ、桑園を作り今や同村には一の不毛の土地なきに至りぬ。其他氏は肥料の選擇、共同購入、信用組合の設立等に關し大に盡力し其成績見るべきものあり。斯く氏が献身的村治に盡瘁せしにより其の村内諸般の改良事業の進歩驚くべき程なり、氏は又村内第一流の豪農家なるに義心最も厚く常に村内下層の窮民を救恤し以て餘惠を頒てり。氏が話頭常に離れざるは「正義を以て公事に盡すべし」てふ辭にして、實踐躬行至らざるなし、以て氏が如何に公共事業に忠實なるかを察すべし。

斯る高潔なる特性は夙に衆の囑望するところとなり、自治制實施以來縣村會議員、縣郡村農會及縣郡村教育會の役員將た村長等の要職に歴任し、兼ねて本縣農工銀行の役員を勤め、現に本村害蟲驅除豫防委員となり、専ら公務の爲めに盡瘁しつゝありて、其功績實に顯著なるものとす。

北川 嘉藏君

犬上郡豊郷村大字安食西

資性温厚にして篤實夙に農事の改良に熱心し、好んで農事に關する書籍雜誌類

を閲讀し、或は農事に關する講習を受け、或は各地を視察して常に農事上諸般の研究を怠らず、明治三十年農會の創設以來、村農會若くは郡農會の役員となりて殆んど農會と離るゝ事なく、尙現に豊郷村農會副會長の職にありて、銳意農事の改善に努力し、其功蹟顯著なるを以て明治四十年大日本農會より名譽賞狀を授與せられ、地方民の尊敬誠に深し。

氏は明治二十年頃より稻種の選擇に意を用ひ自ら私費を投じて各地を巡視し或は農事試験場を參觀し、良種の聞へあるものは之を蒐集して自ら之を試作し、其風土の適否を採りて郷黨に分ち、良種の汎布を計れり。其後肥料其他諸種の試験を行ひ其成績を廣く發表して、以て農事施設に便益を與へ鹽水選、苗代改良、害蟲驅除、稻の正條植、畦畔木材採等は常に卒先して自ら之れを實行し、審さに事理を説きて之を自己の小作人に奨勵し、更に一字一村に及ぼさんとし指導懇切を極め、殆ど家事を顧るの邊なし、されば村民も其誠意に動かされて之を實行し、遂に其の利の大なるを悟るに至れり。氏は又農業教育に留意し、青年をして年々郡農會開設の農事講習會に入會せしめ、其修得生を出すこと郡内各村中第一位を占むるに至らしめたり。

其他栽桑育蠶を奨励し、果樹の品種一定を企畫する等、農家副業の開発に留意する事深く、其功績洵に顕著なりとす。されば三十七八年時局對獎勵事項顯著なるものとして大日本農會より賞状を受け、附近の部落に迄其良感化を及ぼし、比較的商工業者多く、農事の改良困難なりし豊郷村農會をして、明治四十一年に大日本農會の表彰を受くる迄に發展せしめたり。之れ皆氏の功勞なり。

勳八等 久保彌重郎君

阪田郡春照村大字高番

氏は明治十九年以來今日にいたる迄地方公共事業に執掌し、其間農事の改良上裨益せる事甚だ多し。即ち近來地方の子女學齡を過ぐれば多く出稼の爲め都市其他に出て、女子は紡績又は製絲、男子は商店其他各種の業に従ふもの年々増加し爲めに地方の農事は年々衰退の現象を呈し、勞働者に不足を訴へ、農村の荒廢坐視するに忍びざる現況にして、既往數年間に畑地の荒廢して林野に變じたる面積は實に數十町歩の多きに及べり、これ畢竟地方農事の收益少なきに因るなるべければとて、氏は其の増殖を計るを急務とし、牛馬耕を奨励し、氏の田は盡く牛耕となし

又副業増進の策として蠶業改良の爲め養蠶教師を雇入れ、稚蠶共同飼育及び紫雲英種子製産等の有利なる事を唱導して多年其等の奨励に務め、次第に其收益増加を見るに至れり。

其他公務の外縣農會代表者、坂田郡農會副會長、米質改良組合委員及議員、村農會長、郡農會代表者等に再三當選歴任し、農村の事業に貢献を爲したる事實に尠なからず。

中村半治郎君

東淺井郡七尾村大字北池

資性溫厚着實にして事に當り熱心なり、明治十一年北池村戸長に就職せし以來縣會議員、郡會議員、村會議員、村長、郡農會副會長、村農會長其他諸般の公職に歴任し、現に地方森林會員、郡農會代表者、近江蠶絲販賣組合理事、其他の要職にありて盡力する所尠ならず、殊に地方農事改良奨励上に殆ど半生を捧げ、斯界に貢献したる功勞は實に枚舉に遑あらずと雖も、今左に其大要を述べべし。

明治七年四月農况視察として東北地方を巡歴し、甲斐國に至り馬鈴薯の盛に栽

培せらるゝを見て、當地方山邊に好適するを察知し、歸來早々栽培せしむ、之れ當地方に於ける馬齡薯栽培の嚆矢なり。明治十七年北池村外十六ヶ村の勸業委員となるや、卒先縣下内外の名士を招聘し、農談會を開催し、東奔西馳以て農事改良の必要を鼓吹し、次て十九年の頃當地方生糸の粗惡にして、廣く社會の需要に應ずる能はざるを見て、自ら資を投じて生糸座繰傳習所を開き、工女を養成して製絲の改良を計りたり。尙ほ全年防長米改良組合より稻種「シンリキ」なるものを求め、之を試作し、意外の好果を得、今や郡内作付反別の四五割は本種の栽培にして之は氏の事業中特筆大書すべき一事なり。

其他農産物の共同 賣及び農業器具其他日用品の共同購入に力を盡し、耕地整理、殖林事業、共同稻苗代の設置、害虫驅除豫防の實行等農事改良上に關しては一として力を致さざるなし、加之謙讓にして名聲を好まず、只管農村の發展致富を旨とし、毫も倦怠の狀なし、洵に其功績は以て千載に傳ふべきなり。

勤七等 松井常太郎君

伊香郡北富永村

資性英敏にして實業の志厚く、常に地方の改善發達に努むる事切なり、明治三十一年村助役に就任し、全三十三年村長に就職するや、全時に全村農會長に當選し、勤績九ヶ年の久しきに陟り、郡縣農會役員より現に近江米同業組合評議員の職にあり。明治三十三年以來各部落を經めて一團となり、肥料共同の購入をなし、繼續する事數年、各當業者に普く之れが利益を知らしめ、今猶各大字に之れを繼續す。次いで綠肥栽培の必要を感じ、卒先之れが範を示し、當業者を鼓吹し、其普及頗る急遽なるものありたり。又三十五年以來産米の改良に力を致し、毎年産米品評會を開設して當業者を奨勵し、或は小作奨勵法を設けて生産者の製米に利益せしめ、或は産米共同販賣を興して大に地方産米の聲價をあげしめたり、又常に地方青年を鼓舞して勤儉力行に努め、修學の道を講じ、或は生業の途に就かしむ、其他耕地整理、米質改良、林業副業奨勵等視察研究する所實に尠ならず。猶ほ將來益々地方の勸業に貢献すべく其効果の大なる期して待つべきなり。

赤崎太四郎君

高島郡西庄村大字蛭口

氏は明治十四年公職に就かれし以來引續き戸長、村長、郡農會評議員、全幹事、縣農會代表者、其他多くの公職につき勵精大に地方殖産興業並に地方農村風教の改善に盡力し其功績尠ならず他の模範となすに足る。明治四十年以來私設購買組合を設けて肥料共同購入をなせり、かく共同購入を以てせば個人購入に比して其品質良好又其價格に於ても優に一割五分以上の利益を得其成績最も良好なるを以て一般の大に歡迎する所となり、年々其數量の如きも増加するに至れり、又同村は從來鹽水選をなすもの極めて尠なかりしかば郡農會の獎勵と相俟て氏は自村に於ける其獎勵の任に當り常に村農會の技術員等を督勵し其獎勵に努めしかば現今に至りては稻種は盡く鹽水選をなさざるものなきに至れり。

猶ほ米質の改良に盡力し、當業者を鼓舞獎勵せしかば地方産米の聲價を大に擧げ得たり。其他道路の改修、植林獎勵等氏の盡力によりて全村の利益を得たる事實に枚舉に遑あらざるなり。

淺野伊三郎君

大津市馬場

明治十四年勸業委員に擧げられし以來、一意誠心農事の改良發達に力を致し或は滋賀縣勸業課の試作人となり、或は郡市農産物品評會の審査長若くは審査員に擧げられ、又は新嘗祭供御田献納米の作人に選拔せられ、近江米同業組合の委員となり、職務に熱誠着實常に好評を博し、又一方には稻種の改良を圖り、講習生をして共同苗代を設けしめ、果樹栽培を獎勵して自ら率先町歩の果樹園を設けて之を衆に示し、害虫驅除を督勵して其實を擧げ、小作米を改良して地主小作人相互の利益を圖る等、多年一日の如く其勞を厭はず、始終一貫農業の發達に盡瘁するもの商工の盛なる市として氏の如く農事に忠實なるは容易に得難きところなり、其功績眞に表彰するに足る。

岐阜縣



直井信平君



鈴木三藏君



中川源治郎君



岡田貝治君



大畑市太郎君

三三

岐 阜 縣

鈴木 三藏 君

惠那郡苗木町苗木

祖父時代より節儉勤勉の譽高き家庭に人となりし氏は、幼より勤儉力行を以て處世の要訣となし、農事に熱心し、明治十三年南北兩區農談會の創立あるや、其北農會頭となり、専ら全會の爲めに斡旋盡力し、尋て全十八年勸業共進會を苗木町に開設し、其經費の不足は自己多年の貯蓄を以て之に充て、又郡内に於て開設する農事諸會に對しては、曾て欠席せし事なく、一意農事の改良に腐心し、一般農家を鼓舞振作し、又試作田を設置して、耕種の方法を講究し、他に模範を示し、勤儉貯蓄の美風養成に努めたる等、其功績洵に顯著にして、大に推稱すべきなり。故に郡農會、縣農會等より賞與を授與され、其功勞を表彰せられたり。

岐 阜 縣



井坪伊助君



田中榮助君



山田與十郎君



龜谷嘉兵衛君

三四

直井信平君

大野郡莊川村大字町屋

夙に村長、村會議員、助役、村農會長、郡會議員、郡農會代表者、其他多くの公職に就きて令名あり。明治三十一年産牛馬改良の必要を飛騨國三郡同志者に訴へ、飛騨國畜産組合を組織し、該組合の副組長となり、後全組合の變更ありたると共に評議員となり今日に至る。霜害豫防實行の必要上、測候所設立を出願し、百方盡力の結果其設置を見るに至り、明治三十五年には岐阜畜産會幹事に當選、全三十五年岐阜縣第十四區莊川樹苗圃監理を囑托せられ、斯界に盡瘁せるの功績實に擧げて數ふべからず。其他各種品評會共進會等に出品して受賞せる事甚だ多く、其功勞の大なるより明治三十九年賞勳局より勳七等青色桐葉章及金五拾圓を贈與され、同三十九年三月大日本農會總裁宮殿下より、賞狀を賜はり其功勞を表彰せられたり。

中川源治郎君

益田郡下呂村

専ら農事に従事し、山林植樹は明治十二年より着手し、全廿七年より事業を擴張

し、自己の全力を傾注して其經營に任じ、又養蠶業に對しては地方一般天然飼育にて結果往々不良なるものあるより、明治十六年之れか改良を謀らんとするも意の如くならず、明治廿年に於て蠶室を建築し、溫暖育を以て飼育し、其模範を示し、爲に全地方次第に溫暖育の方針となれり。其他縣會議員、森林會議員、共進會、審査員、其他公職に就きて勵精の譽高く、地方農事に貢獻せるの功績洵に多大なるものありとす。氏は又教育事業、戦時後援事業、其他の公共事業に寄附金をなし、謝狀を受けたること甚だ多し。

大畑市太郎君

加茂郡古井村上古井

夙に心を農事に専らにし、地方公共事業に執掌して克く其職責を盡し、或は養蠶の必要を認めて率先桑樹を栽培し、養蠶傳習所を開設して其飼育法を講ぜしめ、又は模範茶園を拓きて茶業の改良に努め、牛馬耕を奨め、植林を奨励せる等、其斯界いたせるの功績洵に多大なるものありとす。然して猶ほ村會議員、森林會議員、各種共進會品評會等の審査員、其他の公職に就き、銳意其職責を全ふせる等、其功勞洵に

推稱すべきなり。明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より有功章を賜はり其功績を表彰せられたり。

正田 太郎右衛門君

郡上郡牛道村大字陰地

夙に村會議員各種品評會審査員等に歷任し農事の改良進歩に關し、緒始一貫盡瘁し土質を調査して施肥の方法を講究し、害蟲驅除、益蟲の保護、灌漑の便を計りたる等其功績洵に顯著なるものあり。其他品評會共進會等へ出品して受賞し明治四十二年には郡上郡農會より農事功勞の賞として、銀盃一個の贈與を受けたり。

岡田 只治君

山縣郡保戸島村大字戸田

夙に種々の公共事業に従事して功績甚だ見るべきものあり。明治三十一年長良川上流護岸堤防を漸次廢止し、引堤防とし、又川床堅め等の改良工事施行方に付き町村長十五名を勸誘し其の筋へ出願して之を實行し、全卅三年大字戸田渡船場

に輕便渡船を實行し、全卅八年木曾及長良川の間に岐阜市以下羽島郡小藪村延長七里餘の用悪水路開鑿に盡瘁し、其他各種の功績擧げて數ふべからず。明治卅九年大日本農會總裁宮殿下より農事改良上の功績に依り賞狀を下賜せられ、縣農會長より有功章贈與賞狀と共に金銀章の贈與を受け、明治四十二年には東宮殿下御行啓に際し、特に御旅館に御召の上、御令旨覺書一通下賜せらるゝの榮譽を荷ひたり。以て如何に氏の功績の尋常ならざるかを知るべきなり。

坪井 伊助君

揖斐郡本郷村

資性温厚にして眞摯、而も清節竹の如く、既往數十年間一意専心一般農事に盡瘁せられたる功績は、洵に偉大なりと云ふべきなり。年十五にして父母を喪ひ、父祖の業を承ぎ、農林の業に従ひ、特に意を殖産の發達に致し、明治十四年竹林の改良に意を注ぎ、百方研鑽し、東奔西走の結果、漸次之れが改良の實を擧げ、郷里揖斐郡の如きは爲めに竹藪反別の増加せる事三倍以上に達せり。氏は只に該地方に止まらず、廣く他府縣に亘りて竹林に關する講演をなし、又は試験場學校等へ其數十種を

寄贈植栽し或は竹病豫防に就き主務大臣に陳情する等直接間接國家を益する功績甚だ大にして、今や衆人其徳を敬慕して竹林翁と尊稱するに至れり。其他教育の普及殖産の發達、農事の改良等に盡力し、郡村農會長となり、三度縣會議員となり、縣農會副會頭ともなる。氏は家に巨萬の富を有するも、己を持する恭儉、他に對する磊落、克く人を容るゝの雅量あり、本年六十八歳の高齡に達するも、今尙ほ鏗鏘として、壯者を凌ぐの概あり、洵に産業界の恩人と謂ふべきなり。

田中榮助君

本巢郡西郷村小野

夙に農事改良進歩を企畫し、實地指導及改良に關する講話によりて農民の智識を廣め、米質の改良、選種、培養法、乾燥法、調製法等を自ら研究し、共進會品評會等の審査員となり、特に滿韓の視察員に選ばれて、調査得る所あり、農會事業には十數年間執筆して、令名あり、其功蹟の大なる洵に擧げて數ふべからず。郡農會長、縣農會長等より賞狀賞盃等の贈與を受け、明治三十九年三月には大日本農會總裁宮殿下より、賞狀を賜はり、其功勞を表彰せられたり。

山田與十郎君

稻葉郡那加村

夙に農學を修め、試作場を設けて農産各種の良否を試験し、原野を開拓して牧牛場を經營し、又同志と謀り畜産會を起して、斯業の改善發達を企て、桑樹の栽培を盛にして、養蠶業を獎勵し、或は陸稻の良種を育成して之が播布を計り、各種品評會、共進會等の審査長、審査員等となり、斯界に盡くせるの功績洵に顯著なるものありとす。明治四十年十二月大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を賜はり、全四十二年四月には全じく綠白綬有功章の下賜ありて、其功勞を表彰せられたり。

龜谷嘉兵衛君

可兒郡惟子村東惟子

明治十三年より今日にいたる三十年間の久しき、村會議員として村治に盡力し、全三十年には稻苗代正條植を獎勵し、其効果甚だ大なるより、其實行を繼續し、全年田區改良發起人となり、出願の手續を爲し、同時に其改良委員となり、卅二年には耕地整理の手續を出願し、同じく其委員に選舉せらる。全三十八年には鹽水選及害

蠱驅除の監督委員に囑託せられ、全卅九年一月には村農會副會長に選ばれ、其他各種品評會其他の審査員として、斯界に貢献せるもの甚だ大なり、明治四十二年大日本農會より農事功勞者として褒狀を授與せられたり。



福澤泰江君



菅澤漸君



井上壽賀君



小泉民左衛門君



樋田正助君



北原阿智之助君

長野縣

三五

長野縣

福澤泰江君

上伊那郡赤穂村

長野縣 (126)

資性温厚着實にして頭腦明晰思慮周到なり、夙に農事の改善進歩に志し、郡農會及び縣農會等の事務に鞅掌する事實に十有余年、之れが爲めに東奔西馳席暖まるの暇なし。明治三十一年同村農會の創立あるや、其幹事に選ばれ、三十三年全會副會長に當選し、其事務に勤勉し、赤穂農談會なるものを開設しては、農事上の講話講習等をなし、以て農民一般の智識を廣め、農事改良上に貢獻したるところ實に尠しとせず。其後三十九年一月上伊那郡農會副會長に當選、以て今日に至り、其間長野縣廳より韓國實業視察員を囑托せられ、歸朝後韓國實業管見の著述あり、又長野縣農會代表者として全國農事總會に出席せることも再々あり、其他上伊那郡簡易農學校商議員として同校の盛大を圖り、小作人の保護獎勵に腐心し、細民の幸福を増進せしめたる等、其功績實に多大なり。故に明治四十年四月大日本農會總裁宮殿

下より有功章を下賜せられ、其功勞を表彰せられたり。

瀧澤 漸 君

埴科郡南條村

夙に本村農事の爲めに盡瘁するところあり、明治二十八年三月本村々長に當選せる以來、村農會長、郡農會副會長、郡會議員、郡參事員、縣農會幹事、其他公私の要職に就きて功勞甚だ多く、全三十九年七月縣農會副會長に當選、爾來再選して今日に及べり、其事に當るや熱心にして能く衆望を得、長野縣報德講演會の開設あるや、副會長として盡力し、農民智識の涵養を圖り、農事の爲めに盡くせるの功績甚だ多大なり、明治四十三年三月大日本農會より綠白綬有功章を贈與せられたり。

白井 壽 賀 君

南安曇郡東穂高村

夙に父の業を繼ぎ、農を主とし、傍ら煙草製造業を營み、明治初年より本村の特産たる柳下煙草の改良を圖り、其販路の擴張に努め、一面には米麥作の精耘、並に肥料

に關する試験を行ひ頗る好結果を得たり。明治二十五年堆肥場を新設し、縣より教師を招聘して堆肥製造に關する教授を受け、又全年當業者間の意志疏通を圖らんが爲め、私立の農會を設立し、農事の改良進歩に付きては率先之れが研究をなし、自作田を郡の米麥作模範地となし、當業者に其良好なる成蹟を示し、馬耕を奨勵し、稻作の改良を實行し、農村風紀の改善を圖らんが爲め、明治四十年貯金會なるものを組織して、村民奢侈の惡風を矯正し、農家の副業として養鶏の利あるを知らしめ、之れが奨勵を圖れる等、農事百般の事に當り率先之れを努め、其功勞實に枚舉に遑あらざるなり、氏の如きは罕に見る勤勉家と云ふべし。

小泉 民左衛門 君

小縣郡中鹽田村

夙に農事の改良に志し、明治三十八年中鹽田村農會長の職に就くや、熱心農蠶業の改良發達を圖り、孜孜として倦まず、今日に及べり。其計畫施設するところ皆精密なる研究調査を経たる上之れに着手し、一旦企圖せるの事業は必ず有終の美を收むるに非ざれば止めず、地方公私の爲めに盡くせるの功績甚だ多し。數年來農